

令和2年度

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

(18歳以上の区民の方が対象)

(小学生以下のお子様の保護者の方が対象)

概要版

令和3年2月

大田区

■調査概要

調査目的

各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

調査対象

大田区内に居住する満 18 歳以上の方（外国人を含む）が対象の下記①～②の各調査：2,000 人
小学生以下のお子様の保護者の方（外国人を含む）が対象：2,000 人

回収数

[18 歳以上の区民の方が対象]

①地域力・まちづくり・環境分野などの調査：885 件（郵送 611 件＋電子申請 274 件）

②スポーツ・福祉・保健分野などの調査：913 件（郵送 653 件＋電子申請 260 件）

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]：1,352 件（郵送 924 件＋電子申請 428 件）

有効回収率

[18 歳以上の区民の方が対象]

①地域力・まちづくり・環境分野などの調査：44.3%

②スポーツ・福祉・保健分野などの調査：45.7%

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]：67.6%

抽出方法：層化無作為抽出

調査方法：配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式

■グラフの見方

- ・結果の数値は原則として回答率（%）で表記している。回答率（%）は、その質問項目に該当する回答者の数を出しており、『n=』と表記している。また、複数回答についても回答者の数としているため、合計しても 100.0%とならない場合がある。
- ・集計は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・グラフや表のタイトルなどは、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。

目次

[18歳以上の区民の方が対象 ①地域力・まちづくり・環境分野などの調査]

(1) 参加してみたい地域活動について.....	P. 3
(2) 協働について.....	P. 5
(3) 生涯学習について.....	P. 6
(4) 商店街について.....	P. 9
(5) 蒲田駅周辺地区グランドデザインについて.....	P. 11
(6) 蒲蒲線について.....	P. 11
(7) 公共交通機関について.....	P. 12
(8) 耐震改修について.....	P. 13
(9) 空港臨海部について.....	P. 14
(10) グリーンプラン関連について.....	P. 15
(11) 羽田空港跡地について.....	P. 16
(12) 自転車の利用について.....	P. 19
(13) 食品ロス・フードドライブについて.....	P. 24
(14) プラスチック容器の回収について.....	P. 27

[18歳以上の区民の方が対象 ②スポーツ・福祉・保健分野などの調査]

(1) 各種認知度について.....	P. 28
(2) 観光について.....	P. 34
(3) 運動・スポーツについて.....	P. 36
(4) 文化活動について.....	P. 38
(5) バリアフリーについて.....	P. 39
(6) 施策等の認知度について.....	P. 39
(7) 通院、在宅医療について.....	P. 41
(8) 災害時の医療について.....	P. 42
(9) 喫煙について.....	P. 43
(10) AEDについて.....	P. 46
(11) はねびよん健康ポイントについて.....	P. 47
(12) 図書館について.....	P. 47

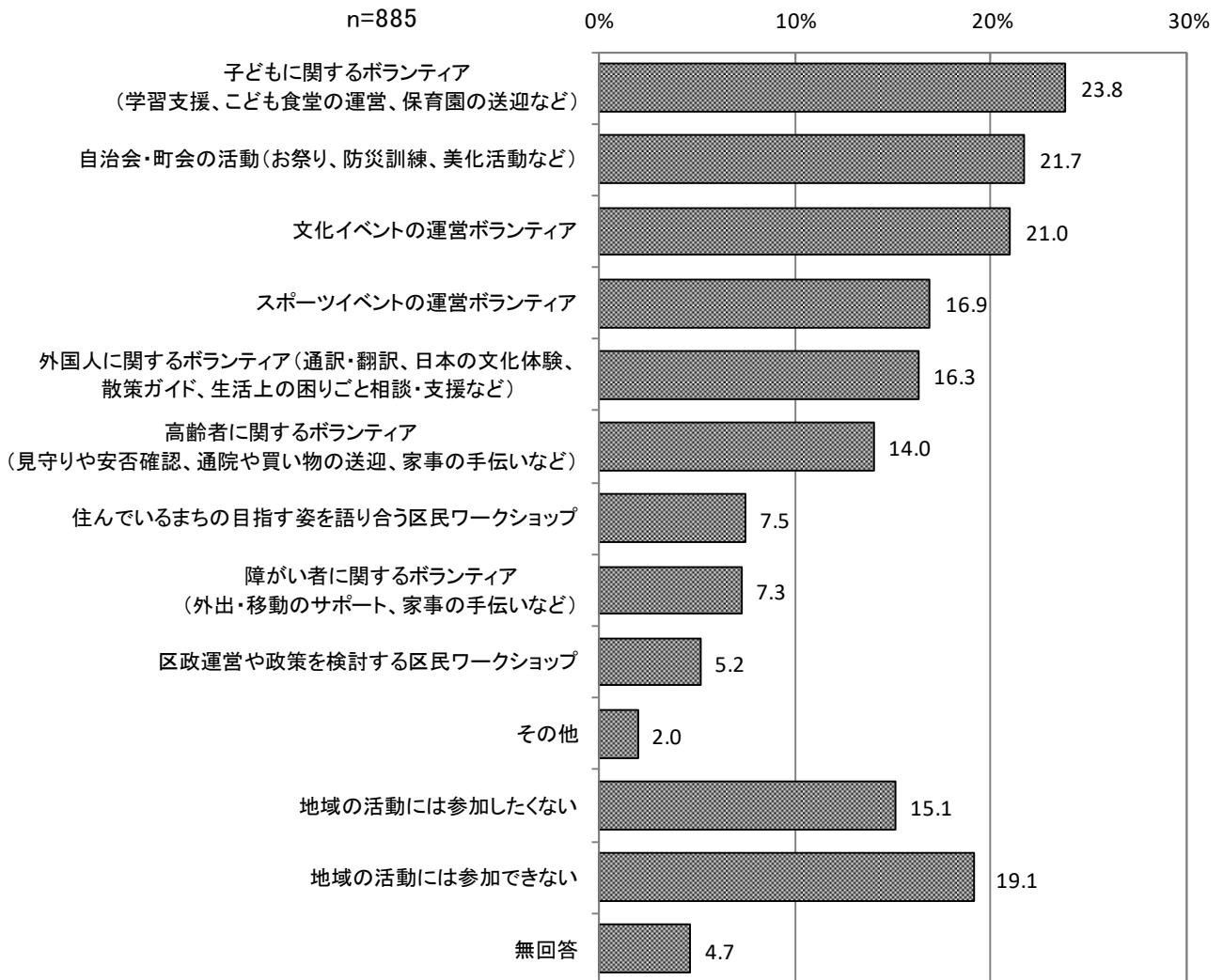
[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]

(1) 子育ての相談相手などについて.....	P. 50
(2) 子育ての環境や支援などについて.....	P. 52

18歳以上の区民の方が対象 ①地域力・まちづくり・環境分野などの調査

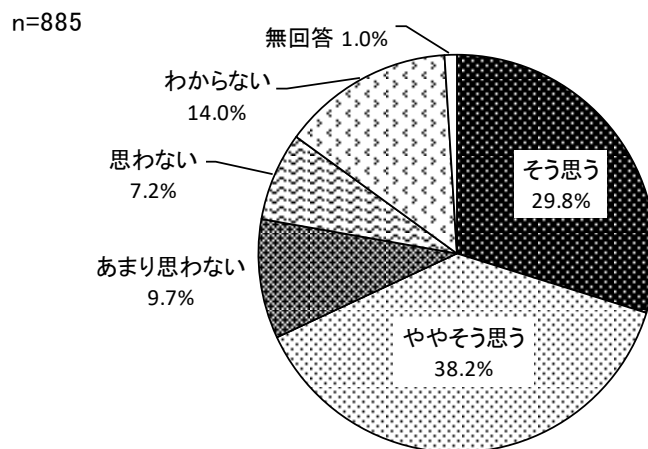
(1) 参加してみたい地域活動について

問1 あなたが参加してみたい地域活動を全て選択してください。(〇はいくつでも)



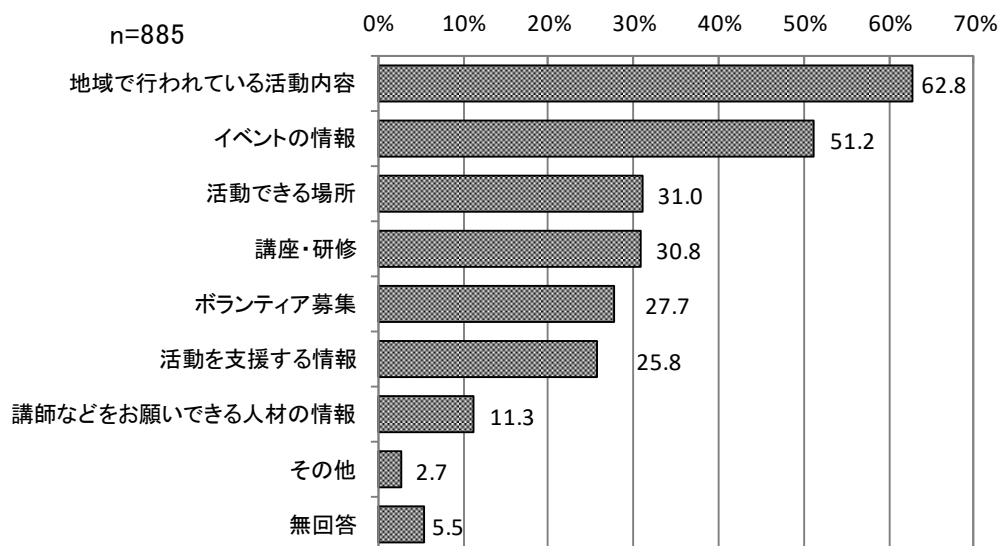
参加してみたい地域活動を聞いたところ、「子どもに関するボランティア(学習支援、子ども食堂の運営、保育園の送迎など)」が23.8%で最も高く、次いで、「自治会・町会の活動(お祭り、防災訓練、美化活動など)」(21.7%)、「文化イベントの運営ボランティア」(21.0%)となっている。

問2 あなたは、情報があれば地域活動への興味・関心や、参加につながると思いませんか。
(○は1つ)



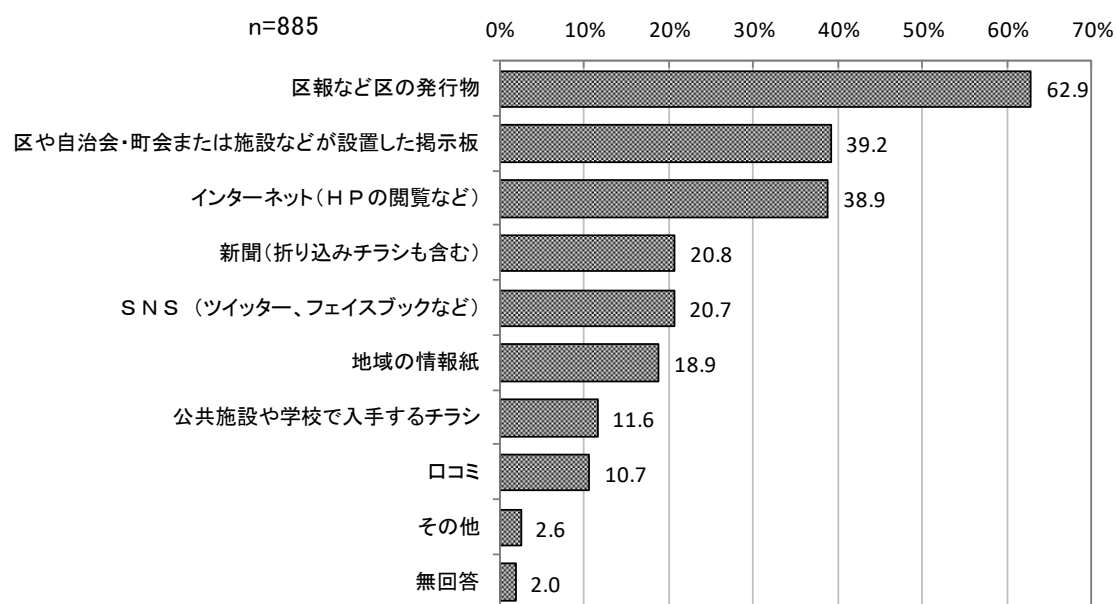
情報があれば地域活動への興味・関心や、参加につながると思うか聞いたところ、「ややそう思う」が 38.2%で最も高く、「そう思う」(29.8%) と合わせた《そう思う (合計)》は 68.0%となっている。「あまり思わない」(9.7%) と「思わない」(7.2%) を合わせた《思わない (合計)》が 16.9%、「わからない」が 14.0%となっている。

問3 あなたは、どのような地域活動に関する情報が必要だと思いますか。(○はいくつでも)



どのような地域活動に関する情報が必要だと思うか聞いたところ、「地域で行われている活動内容」が 62.8%で最も高く、次いで、「イベントの情報」(51.2%)、「活動できる場所」(31.0%) となっている。

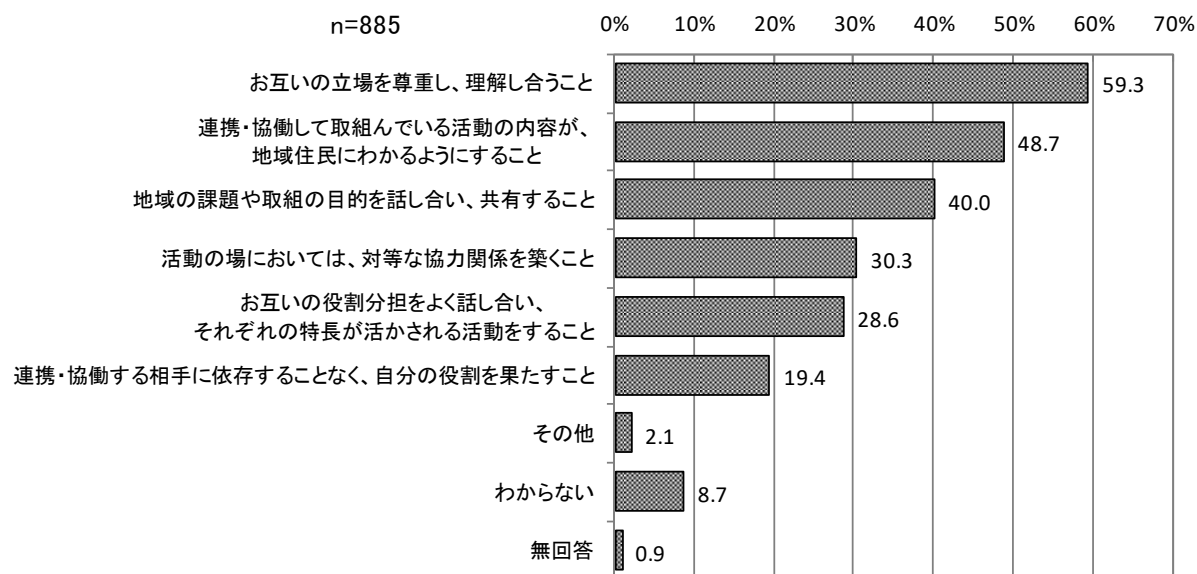
問4 あなたが普段、地域活動に関する情報を収集する方法はなんですか。(〇はいくつでも)



地域活動の情報の収集方法について聞いたところ、「区報など区の発行物」が 62.9%で最も高く、次いで、「区や自治会・町会または施設などが設置した掲示板」(39.2%)、「インターネット(HPの閲覧など)」(38.9%)となっている。

(2) 協働について

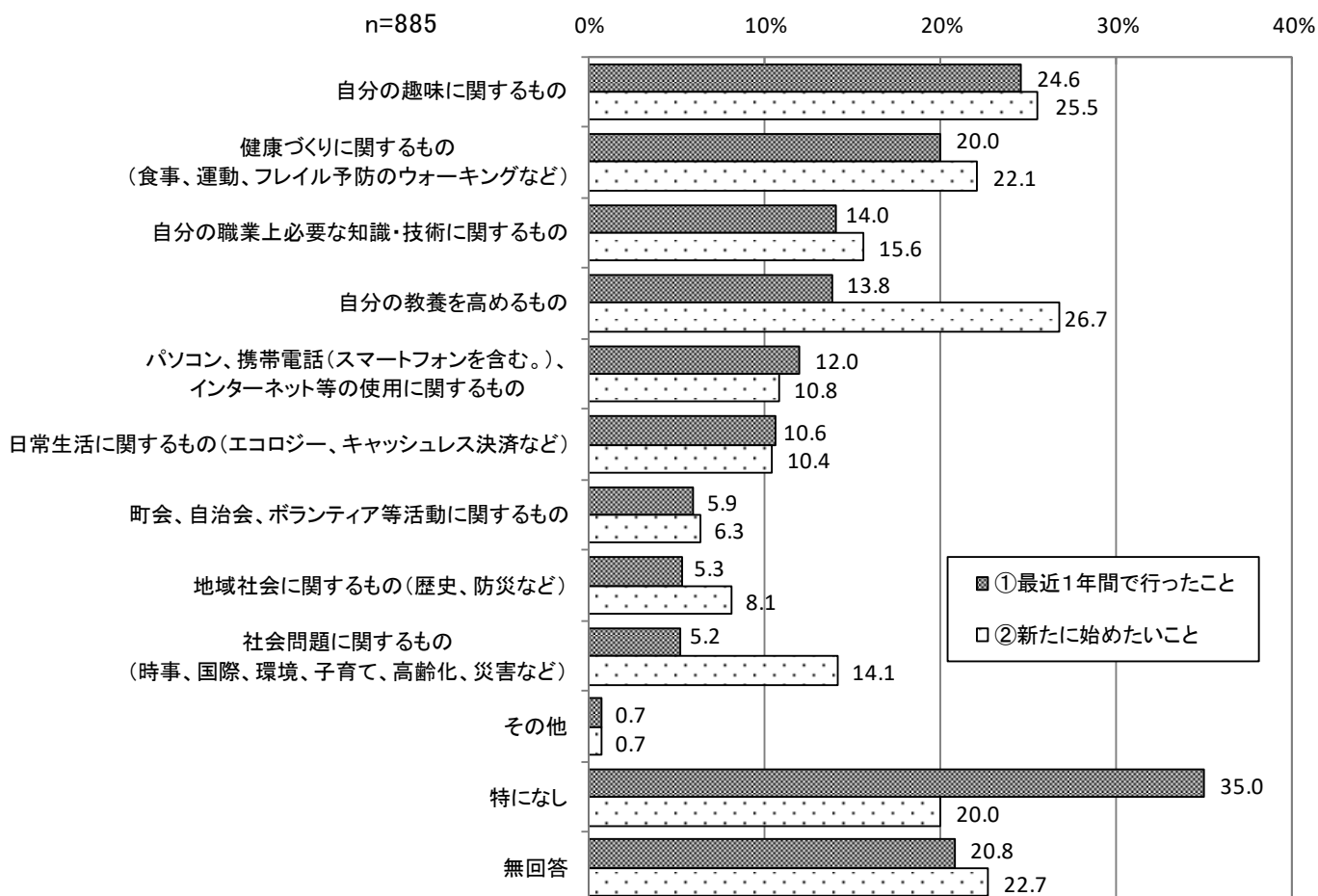
問5 豊かで魅力に満ちたまちづくりを進めるための連携や協働をするにあたり、どのようなことが重要だとお考えですか。(〇はいくつでも)



連携・協働をするために重要なことについて聞いたところ、「お互いの立場を尊重し、理解し合うこと」が 59.3%で最も高く、次いで、「連携・協働して取組んでいる活動の内容が、地域住民にわかるようにすること」(48.7%)、「地域の課題や取組の目的を話し合い、共有すること」(40.0%)となっている。

(3) 生涯学習について

問6 あなたはこの1年間に、学校、区が行う講座や文化、スポーツ、趣味等のサークル活動、地域活動、仕事・就職活動や日常生活でどのような調べ事や学び（生涯学習）を行いましたか。また、新たに始めてみたいことはありますか。（「①最近1年間でやったこと」「②新たに始めたいこと」、それぞれ〇はいくつでも）



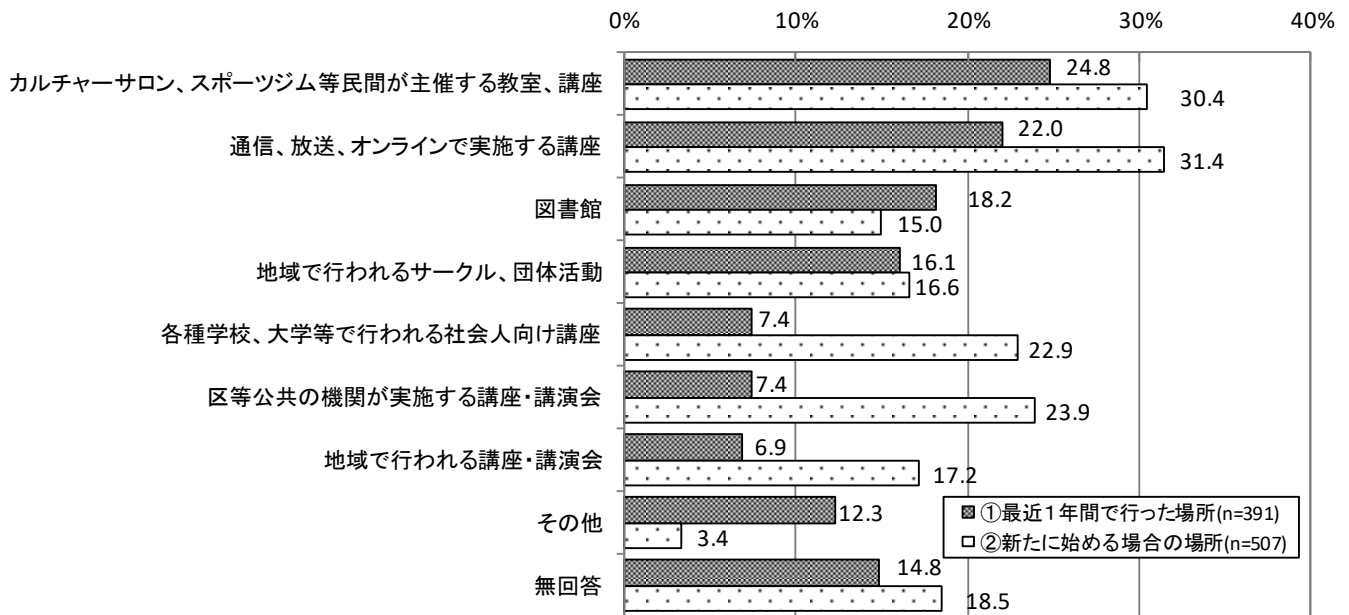
【最近1年間でやった】生涯学習について聞いたところ、「自分の趣味に関するもの」が24.6%で最も高く、次いで、「健康づくりに関するもの（食事、運動、フレイル予防のウォーキングなど）」（20.0%）、「自分の職業上必要な知識・技術に関するもの」（14.0%）となっている。

一方、「特になし」は35.0%となっている。

【新たに始めたい】生涯学習について聞いたところ、「自分の教養を高めるもの」が26.7%で最も高く、次いで、「自分の趣味に関するもの」（25.5%）、「健康づくりに関するもの（食事、運動、フレイル予防のウォーキングなど）」（22.1%）となっている。

一方、「特になし」は20.0%となっている。

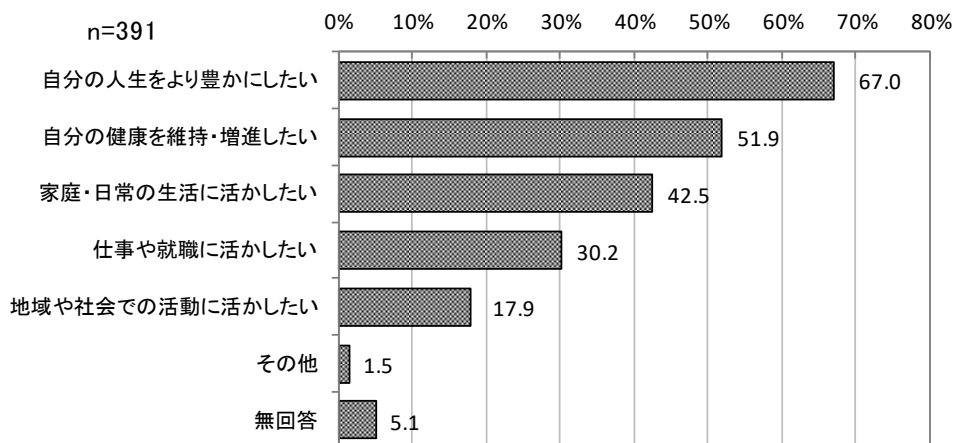
問6-1 どこで行いましたか。また、新たに始める場合はどこで行いたいですか。(「①最近1年間で行った場所」「②新たに始める場合の場所」、それぞれ〇はいくつでも)



【生涯学習を行った】場所について聞いたところ、「カルチャーサロン、スポーツジム等民間が主催する教室、講座」が24.8%で最も高く、次いで、「通信、放送、オンラインで実施する講座」(22.0%)、「図書館」(18.2%)となっている。

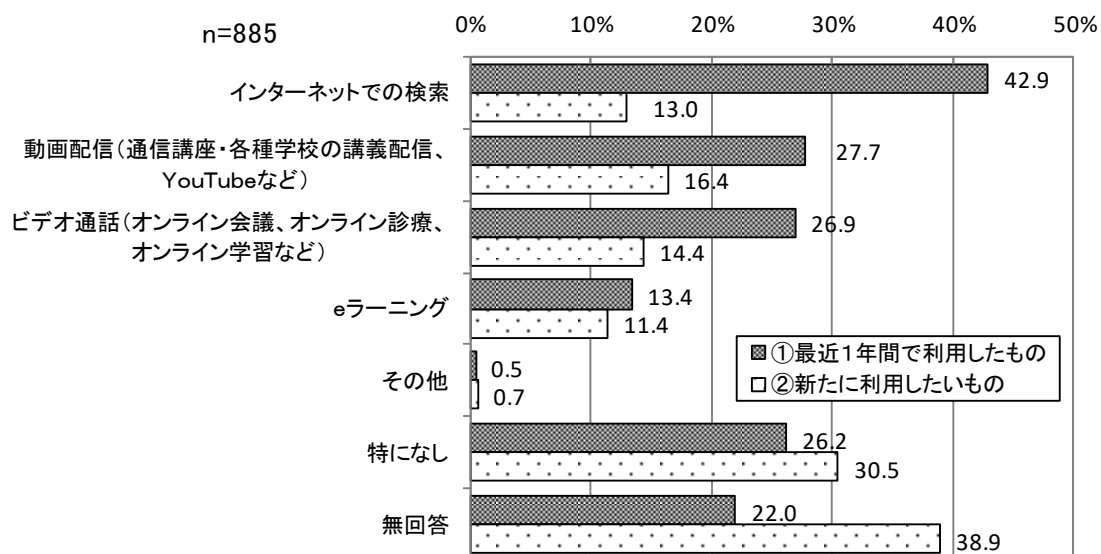
【生涯学習を新たに始める場合】の場所については、「通信、放送、オンラインで実施する講座」が31.4%で最も高く、次いで、「カルチャーサロン、スポーツジム等民間が主催する教室、講座」(30.4%)、「区等公共の機関が実施する講座・講演会」(23.9%)となっている。

問6-2 あなたは生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしたいですか。(〇はいくつでも)



最近1年間に生涯学習の活動を行った人に生涯学習で身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしたいか聞いたところ、「自分の人生をより豊かにしたい」が67.0%で最も高く、次いで、「自分の健康を維持・増進したい」(51.9%)、「家庭・日常の生活に活かしたい」(42.5%)となっている。

問7 この1年間に、生涯学習を行うにあたり、パソコン、タブレットや携帯電話（スマートフォンを含む。）で以下の利用をしましたか。また、新たに利用したいことはありますか。（「①最近1年間で利用したもの」「②新たに利用したいもの」、それぞれ〇はいくつでも）



【最近1年間に生涯学習で利用した】情報端末のサービスについて聞いたところ、「インターネットでの検索」が42.9%で最も高く、次いで、「動画配信（通信講座・各種学校の講義配信、YouTubeなど）」(27.7%)、「ビデオ通話（オンライン会議、オンライン診療、オンライン学習など）」(26.9%)となっている。

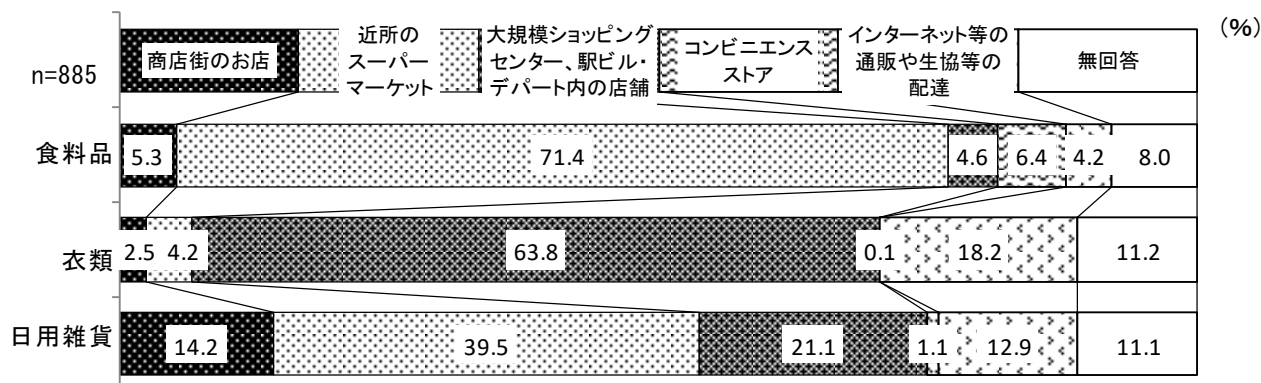
一方、「特になし」は26.2%となっている。

【新たに利用したい】情報端末のサービスについて聞いたところ、「動画配信（通信講座・各種学校の講義配信、YouTubeなど）」が16.4%で最も高く、次いで、「ビデオ通話（オンライン会議、オンライン診療、オンライン学習など）」(14.4%)、「インターネットでの検索」(13.0%)となっている。

一方、「特になし」は30.5%となっている。

(4) 商店街について

問8 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する業態と、その理由をそれぞれ選択肢から1つ選んで番号を記入してください。

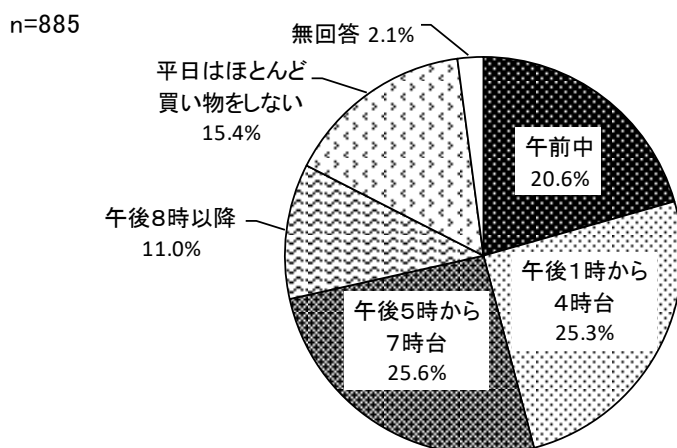


【食料品】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態について聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が71.4%で最も高く、次いで、「コンビニエンスストア」(6.4%)、「商店街のお店」(5.3%)となっている。

【衣類】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態について聞いたところ、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」が63.8%で最も高く、次いで、「インターネット等の通販や生協等の配達」(18.2%)、「近所のスーパーマーケット」(4.2%)となっている。

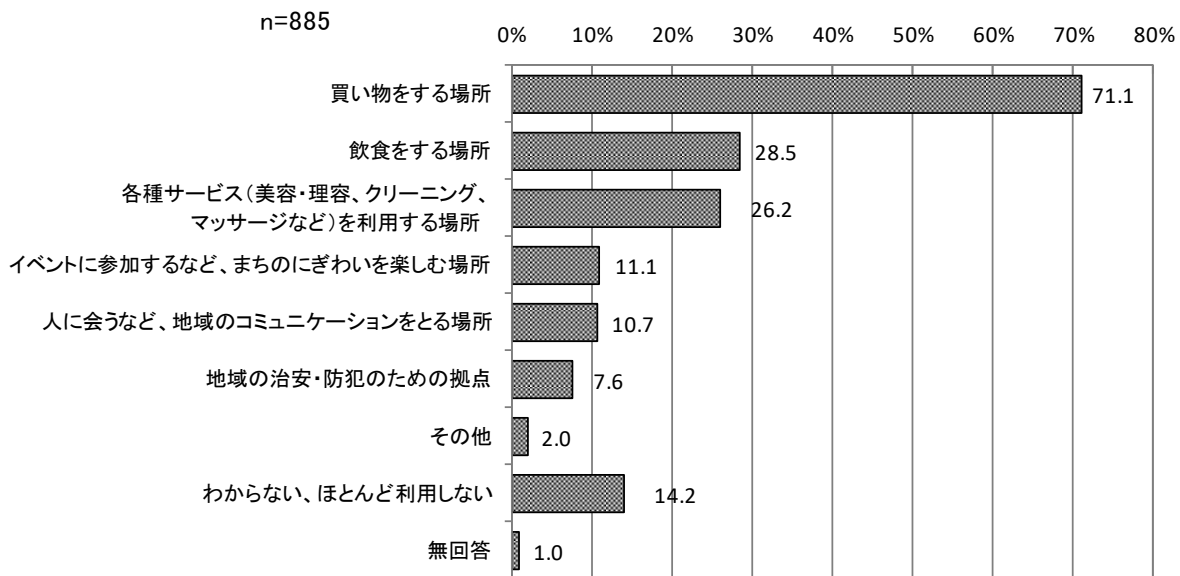
【日用雑貨】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態について聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が39.5%で最も高く、次いで、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(21.1%)、「商店街のお店」(14.2%)となっている。

問9 平日に食料品の買い物をする時間帯はどれですか。最も多いものを選んでください。(〇は1つ)



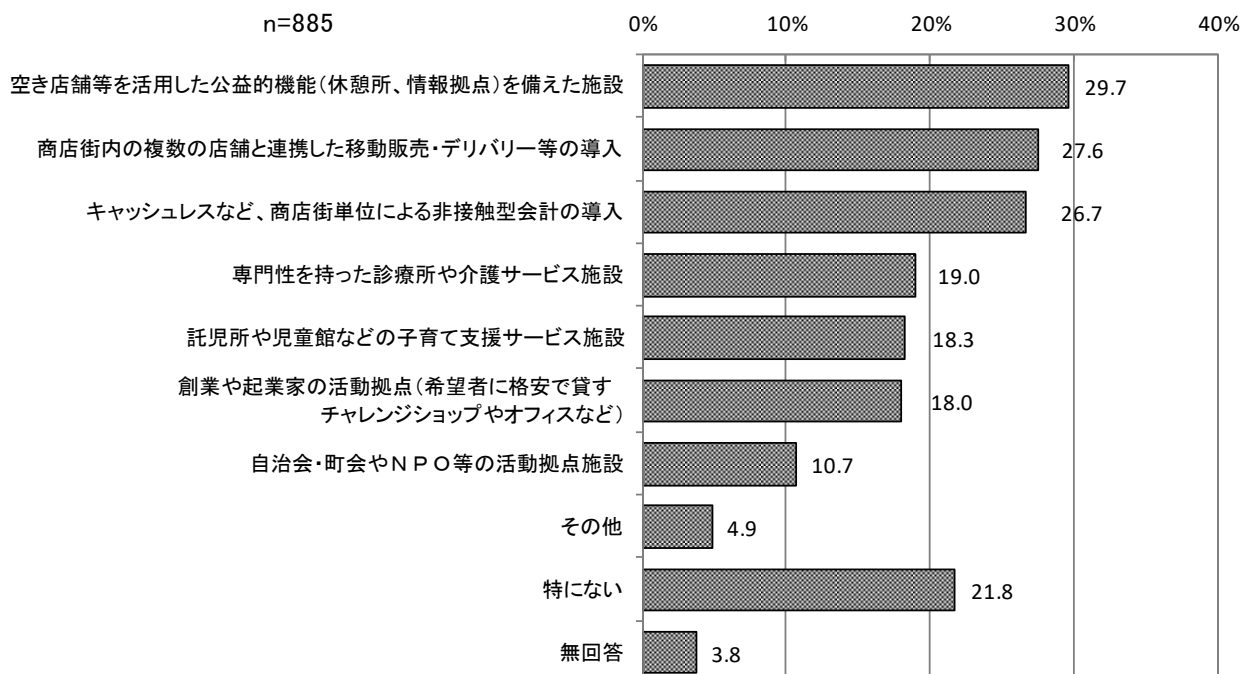
食料品や日用品の買い物をする時間帯を聞いたところ、「午後5時から7時台」が25.6%で最も高く、次いで、「午後1時から4時台」(25.3%)、「午前中」(20.6%)となっている。

問 10 あなたにとって、商店街はどのような場所ですか。お考えの近いものを選んでください。
(○はいくつでも)



商店街への印象について聞いたところ、「買い物をする場所」が 71.1%で最も高く、次いで、「飲食をする場所」(28.5%)、「各種サービス(美容・理容、クリーニング、マッサージなど)を利用する場所」(26.2%) などとなっている。

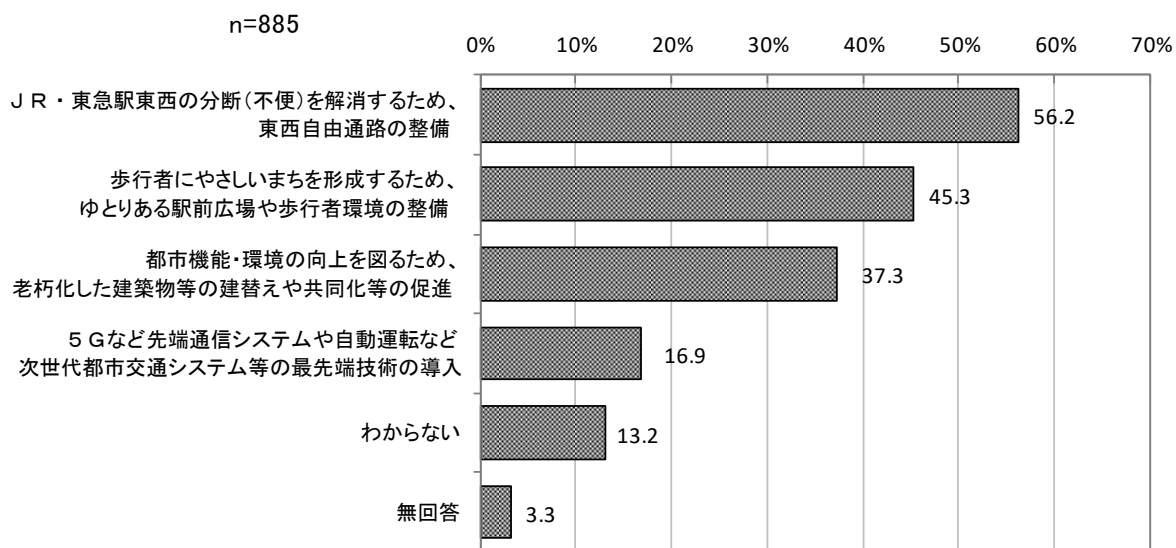
問 11 あなたが商店街に必要なと思うサービスや施設等は何ですか。(○はいくつでも)



商店街に必要なと思うサービス・施設等について聞いたところ、「空き店舗等を活用した公益的機能(休憩所、情報拠点)を備えた施設」が 29.7%で最も高く、次いで、「商店街内の複数の店舗と連携した移動販売・デリバリー等の導入」(27.6%)、「キャッシュレスなど、商店街単位による非接触型会計の導入」(26.7%) となっている。

(5) 蒲田駅周辺地区グランドデザインについて

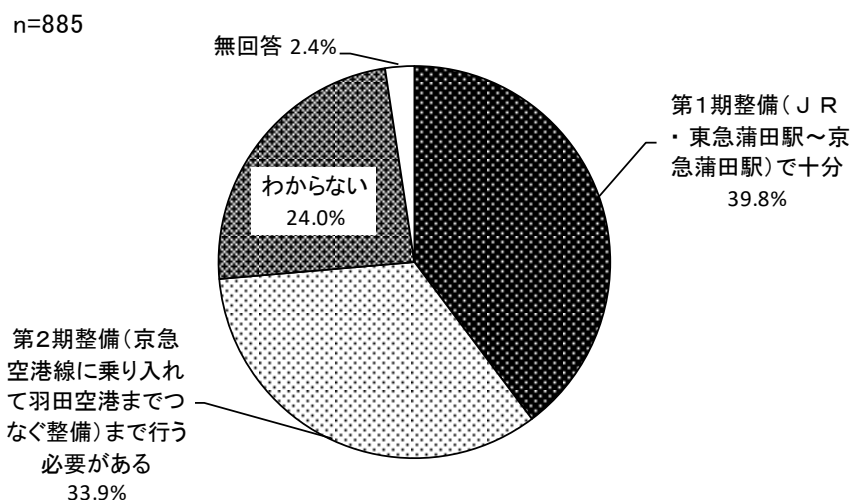
問 12 蒲田のまちづくりを進めるに当たり、整備が必要と考えるものを選んでください。(〇はいくつでも)



蒲田のまちづくりのために整備が必要なものについて聞いたところ、「J R・東急駅東西の分断(不便)を解消するため、東西自由通路の整備」が 56.2%で最も高く、次いで、「歩行者にやさしいまちを形成するため、ゆとりある駅前広場や歩行者環境の整備」(45.3%)、「都市機能・環境の向上を図るため、老朽化した建築物等の建替えや共同化等の促進」(37.3%)となっている。

(6) 蒲蒲線について

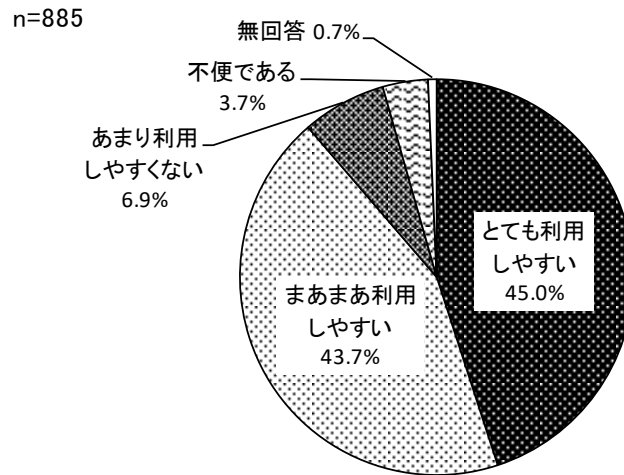
問 13 J R・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ新空港線(蒲蒲線)の構想について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。(〇は1つ)



蒲蒲線の構想について聞いたところ、「第1期整備(J R・東急蒲田駅～京急蒲田駅)で十分」が 39.8%で最も高く、「第2期整備(京急空港線に乗り入れて羽田空港までつなぐ整備)まで行う必要がある」が 33.9%、「わからない」が 24.0%となっている。

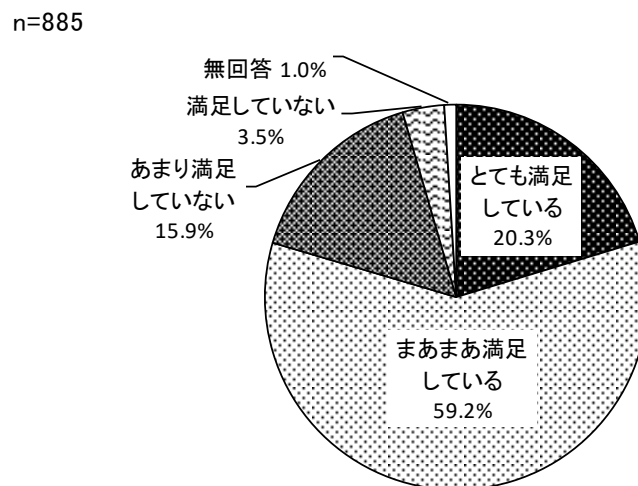
(7) 公共交通機関について

問 14 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(○は1つ)



自宅近くの公共交通機関の環境について聞いたところ、「とても利用しやすい」が 45.0%で最も高く、次いで、「まあまあ利用しやすい」(43.7%)、「あまり利用しにくい」(6.9%)、「不便である」(3.7%) となっている。

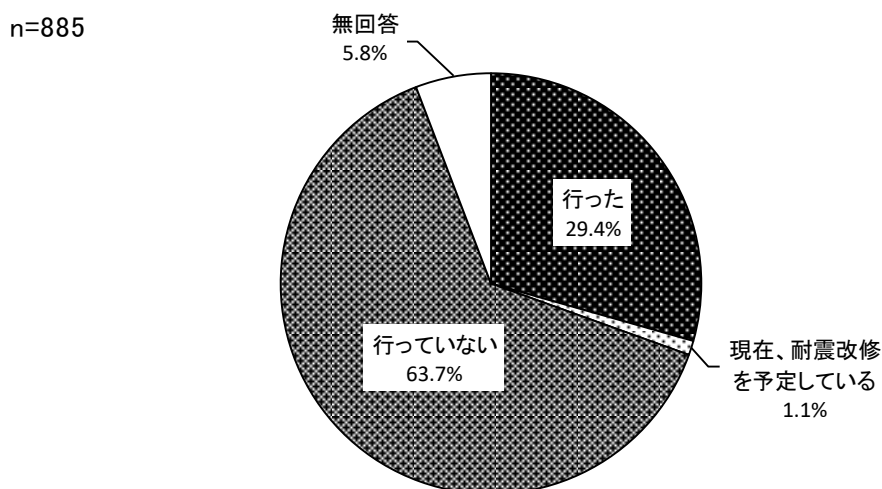
問 15 大田区内の公共交通網に満足していますか。(○は1つ)



大田区の公共交通網の満足度について聞いたところ、「まあまあ満足している」が 59.2%で最も高く、「とても満足している」(20.3%) と合わせた《満足している(合計)》は 79.5%となっている。「あまり満足していない」(15.9%)、「満足していない」(3.5%) を合わせた《満足していない(合計)》は 19.4%となっている。

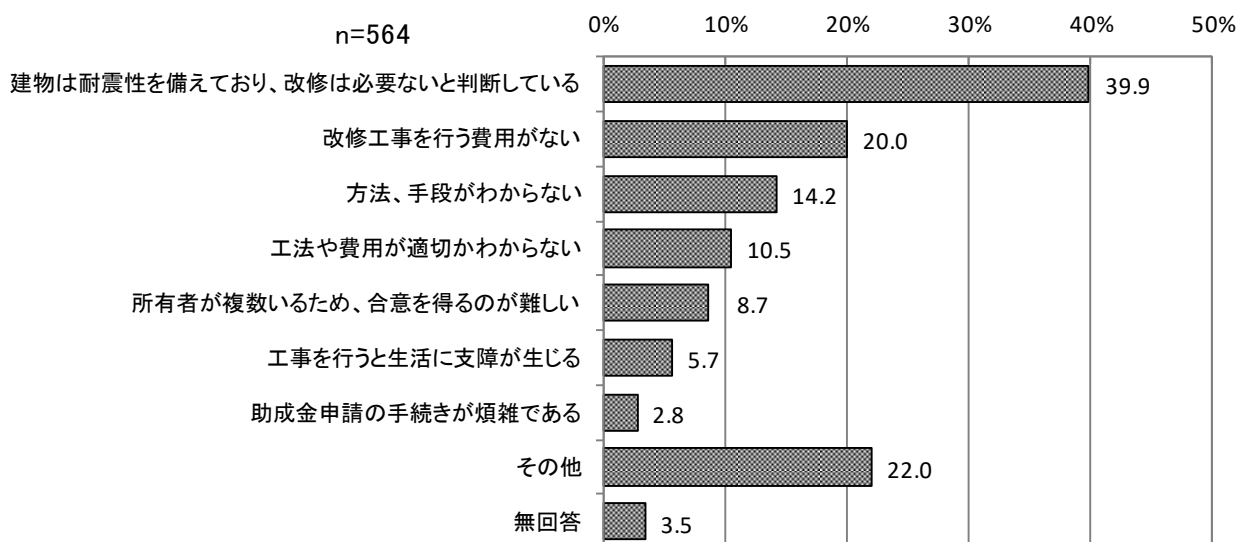
(8) 耐震改修について

問 16 あなたは、現在のお住まいや所有している建物の耐震改修を行いましたか。(〇は1つ)



住まいや所有建築物の耐震改修状況について聞いたところ、「行った」が29.4%、「行っていない」が63.7%となっている。

問 16-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

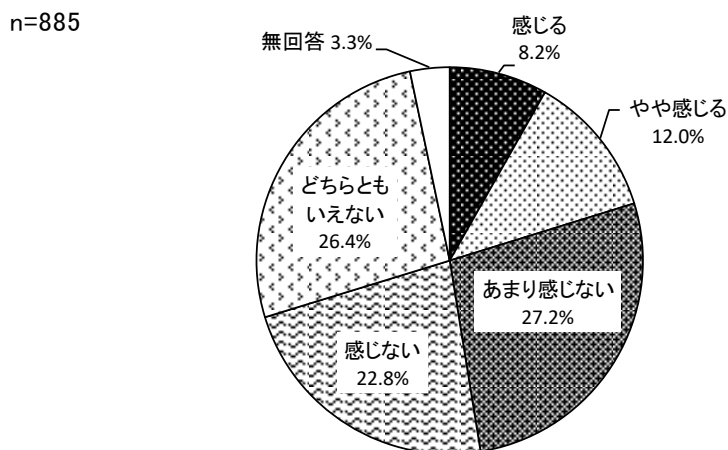


建物の耐震改修を行っていない人にその理由を聞いたところ、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が39.9%で最も高く、次いで、「改修工事を行う費用がない」(20.0%)、「方法、手段がわからない」(14.2%)となっている。

また、「その他」(22.0%)の回答の8割以上が『賃貸住宅』または『集合住宅』のためとなっている。

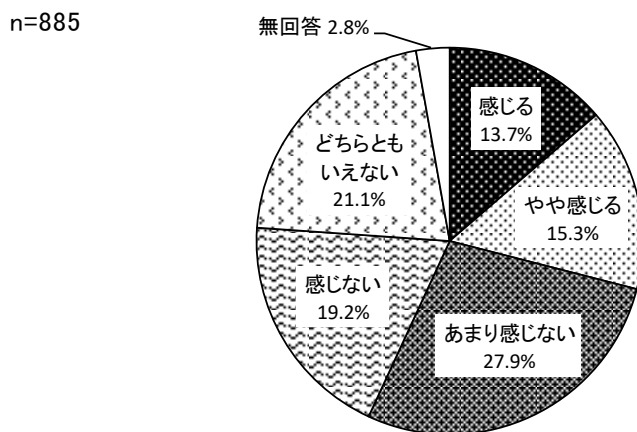
(9) 空港臨海部について

問 17 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。（○は1つ）



空港臨海部への訪れやすさについて聞いたところ、「あまり感じない」が27.2%で最も高く、「感じない」(22.8%)と合わせた《感じない(合計)》は50.0%となっている。「感じる」(8.2%)、「やや感じる」(12.0%)を合わせた《感じる(合計)》は20.2%となっている。

問 18 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。（○は1つ）

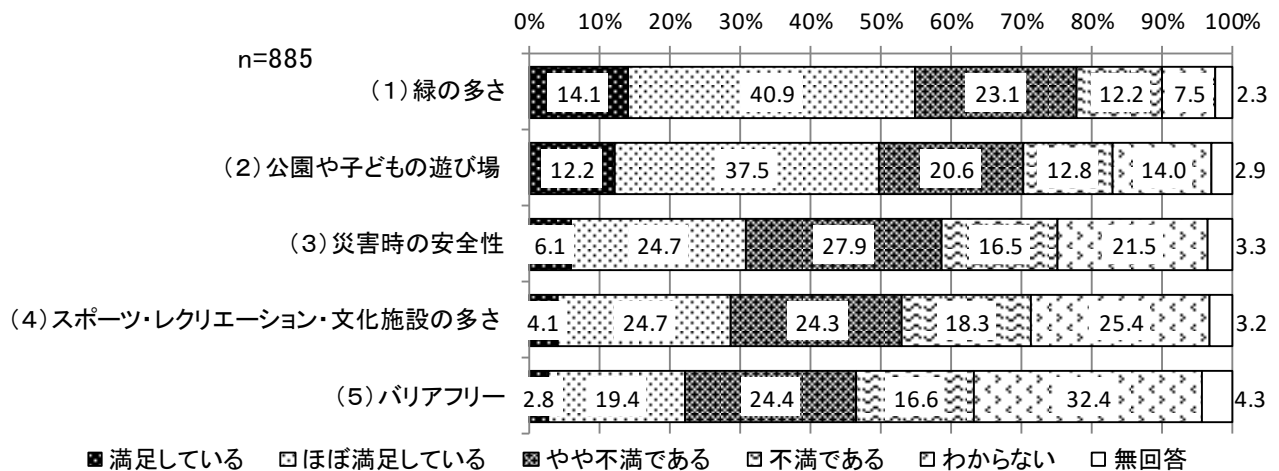


空港臨海部の魅力度について聞いたところ、「あまり感じない」が27.9%で最も高く、「感じない」(19.2%)と合わせた《感じない(合計)》は47.1%となっている。

「感じる」(13.7%)、「やや感じる」(15.3%)を合わせた《感じる(合計)》は29.0%となっている。

(10) グリーンプラン関連について

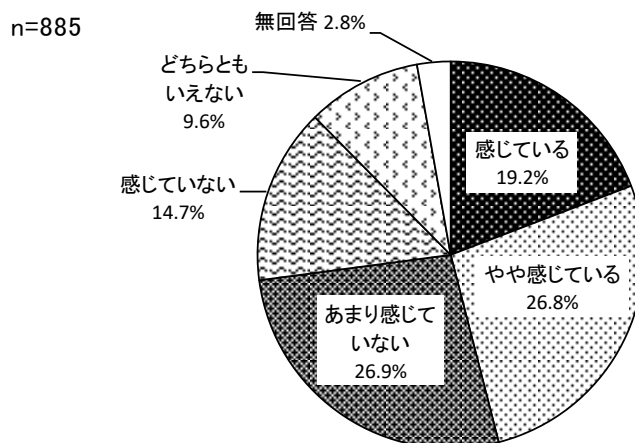
問 19 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。
 ((1) ~ (5)、それぞれ○は1つ)



生活環境の満足度について聞いたところ、【緑の多さ】の「満足している」(14.1%)、「ほぼ満足している」(40.9%)を合わせた《満足(合計)》が55.0%で5項目中最も高く、5割以上となっている。次いで、【公園や子どもの遊び場】の《満足(合計)》が49.7%で、「やや不満である」、「不満である」を合わせた《不満(合計)》を上回っている。

《不満(合計)》は【災害時の安全性】が44.4%で5項目中最も高く、次いで【スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ】が42.6%、【バリアフリー】が41.0%で、《満足(合計)》を上回っている。

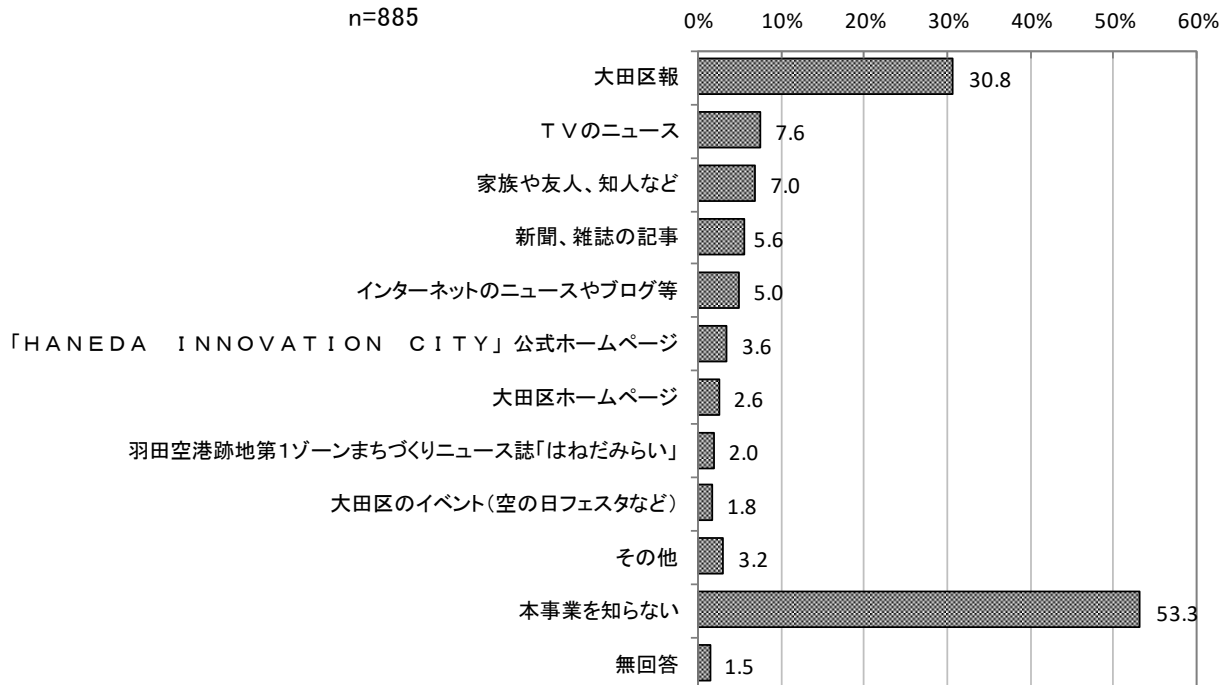
問 20 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(○は1つ)



身近に水や緑に親しめると感じるかについて聞いたところ、「あまり感じていない」が26.9%で最も高く、「感じていない」(14.7%)と合わせた《感じていない(合計)》は41.6%となっている。一方、「感じている」(19.2%)、「やや感じている」(26.8%)を合わせた《感じている(合計)》は46.0%となっている。

(11) 羽田空港跡地について

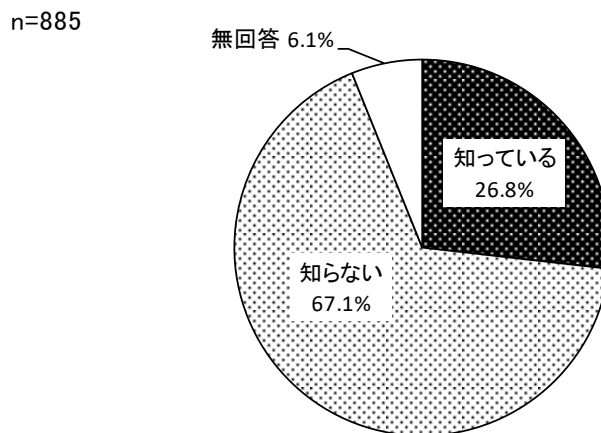
問 21 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が現在進められています。本事業についてはどのような方法で知りましたか。(〇はいくつでも)



「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」を知った方法について聞いたところ、「大田区報」が30.8%で最も高く、次いで、「TVのニュース」(7.6%)、「家族や友人、知人など」(7.0%)となっている。

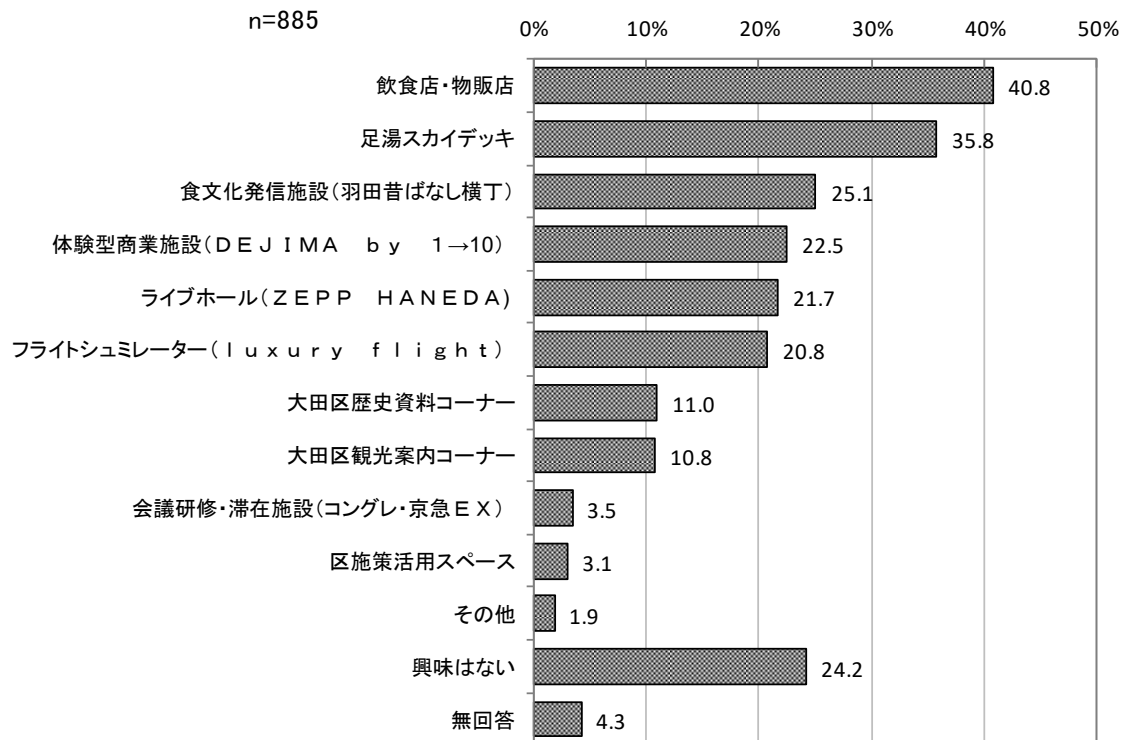
一方、「本事業を知らない」が53.3%となっている。

問 22 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の第一期事業(羽田イノベーションシティ)についてご存じですか。(〇は1つ)



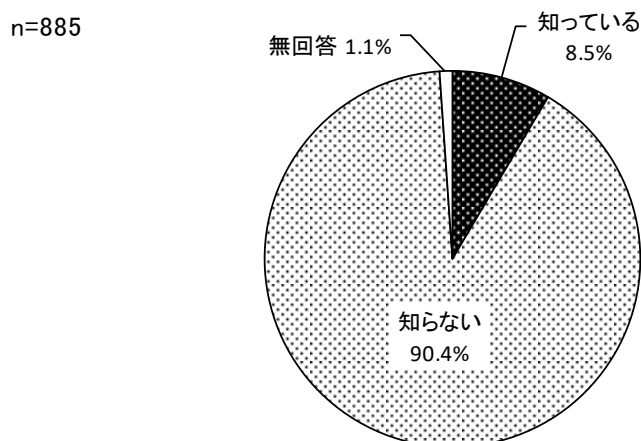
「羽田イノベーションシティ」の認知度について聞いたところ、「知っている」は26.8%、「知らない」が67.1%となっている。

問 23 第一期事業（羽田イノベーションシティ）のうち、興味があるものはありますか。
（〇はいくつでも）



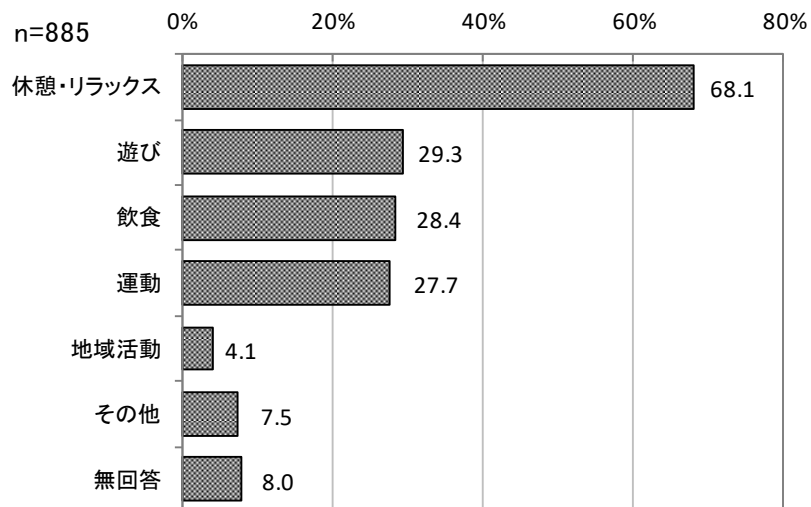
「羽田イノベーションシティ」において興味があるものについて聞いたところ、「飲食店・物販店」が40.8%で最も高く、次いで、「足湯スカイデッキ」（35.8%）、「食文化発信施設（羽田昔ばなし横丁）」（25.1%）となっている。

問 24 羽田空港跡地第1ゾーンに公園（300m×70m程度）が整備される予定があることをご存知ですか。（〇は1つ）



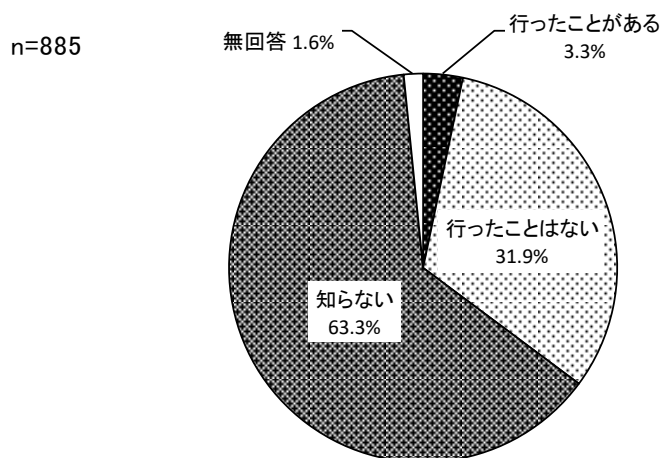
羽田空港跡地第1ゾーンの公園整備の認知度について聞いたところ、「知っている」が8.5%、「知らない」が90.4%となっている。

問 25 その公園が完成した時に、したいことはありますか。(〇はいくつでも)



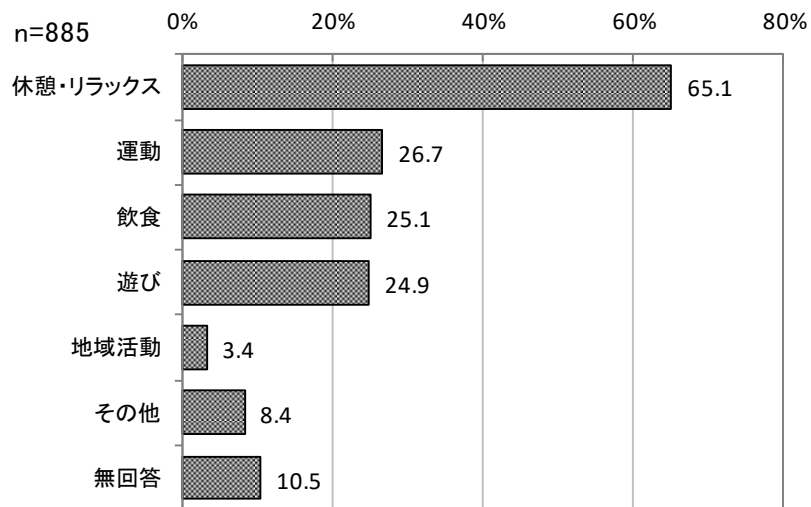
公園が完成した時にしたいことを聞いたところ、「休憩・リラックス」が 68.1%で最も高く、次いで、「遊び」(29.3%)、「飲食」(28.4%)となっている。

問 26 羽田空港跡地の多摩川沿い(第2ゾーン)に整備された「ソラムナード羽田緑地」(1,100m×15m程度)に行ったことはありますか。(〇は1つ)



「ソラムナード羽田緑地」に行ったことがあるか聞いたところ、「行ったことがある」は 3.3%、「行ったことはない」が 31.9%、「知らない」が 63.3%となっている。

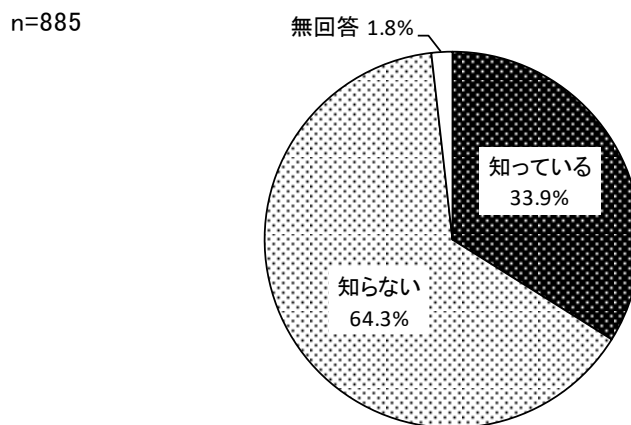
問 27 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(〇はいくつでも)



「ソラムナード羽田緑地」でしたいことについて聞いたところ、「休憩・リラックス」が 65.1% で最も高く、次いで、「運動」(26.7%)、「飲食」(25.1%) となっている。

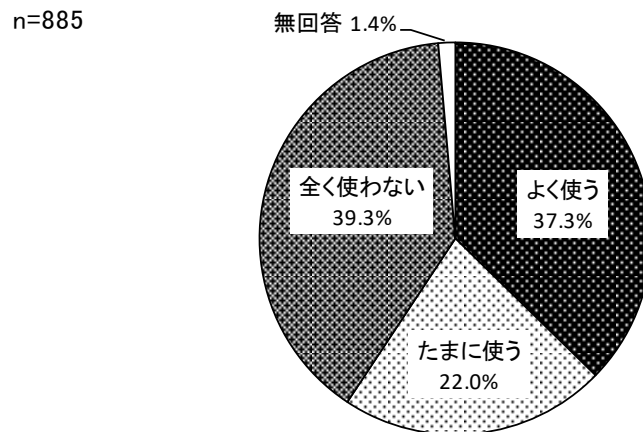
(12) 自転車の利用について

問 28 あなたは、大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。(〇は1つ)



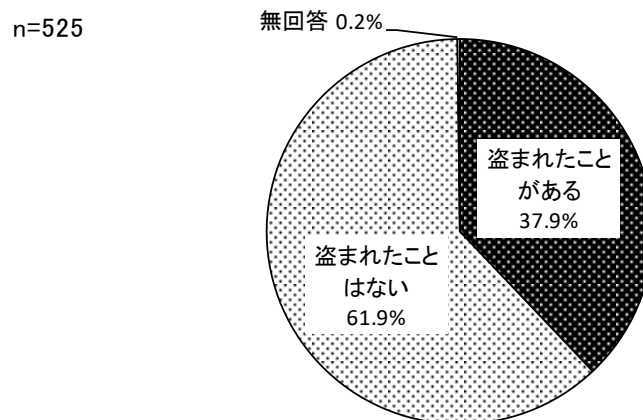
大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度について聞いたところ、「知っている」が 33.9%、「知らない」が 64.3%となっている。

問 29 あなたは、普段から自転車を使いますか。(○は1つ)



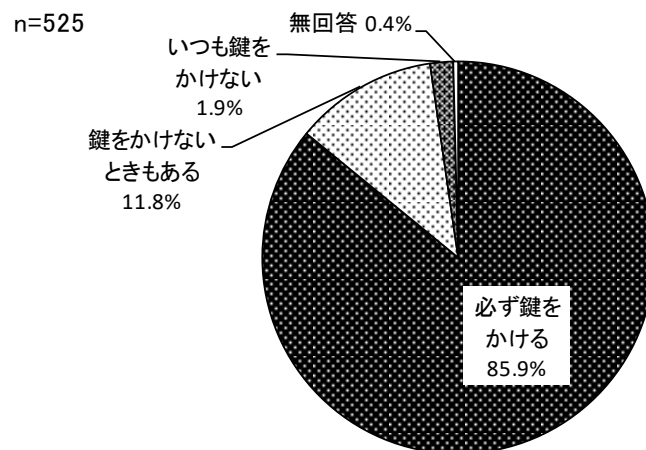
普段の自転車の利用について聞いたところ、「全く使わない」が 39.3%で最も高く、次いで、「よく使う」(37.3%)、「たまに使う」(22.0%)となっている。

問 30 あなたは、過去に自転車を盗まれたことがありますか。(○は1つ)



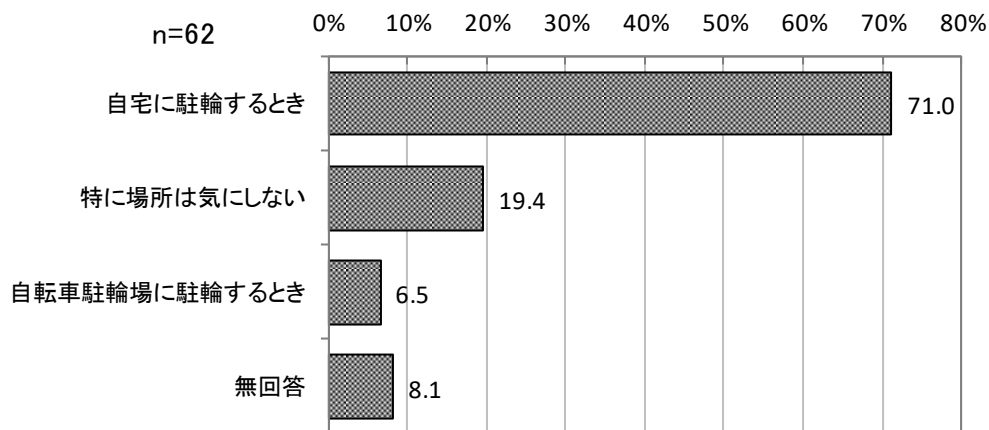
自転車を使う人に自転車を盗まれた経験を聞いたところ、「盗まれたことがある」は 37.9%、「盗まれたことはない」は 61.9%となっている。

問 31 あなたは、普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(○は1つ)



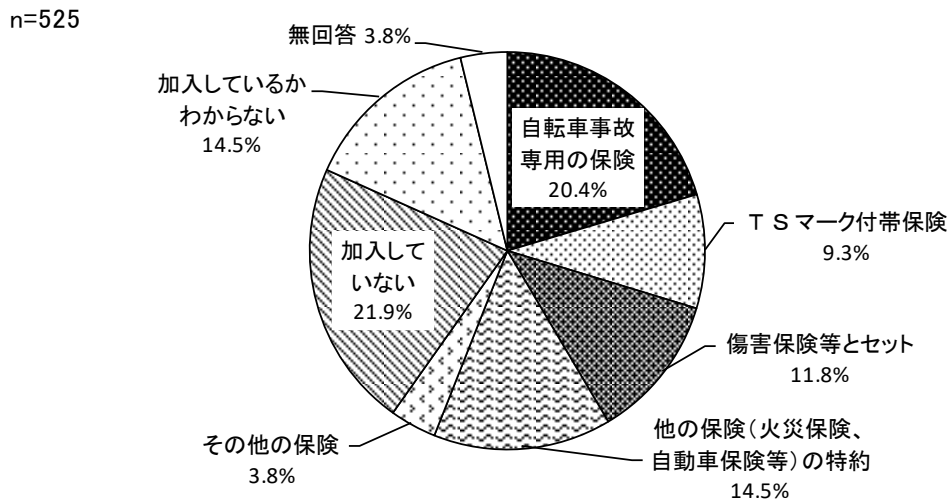
自転車を使う人に自転車の鍵をかけるかについて聞いたところ、「必ず鍵をかける」が 85.9%、「鍵をかけないときもある」が 11.8%、「いつも鍵をかけない」が 1.9%となっている。

問 31-1 あなたが自転車に鍵をかけないのは、どのような場所ですか。(○はいくつでも)



自転車に鍵をかけないときもある人に、鍵をかけないのはどのような場所か聞いたところ、「自宅に駐輪するとき」が 71.0%で最も高く、次いで、「特に場所は気にしない」(19.4%)、「自転車駐輪場に駐輪するとき」(6.5%) となっている。

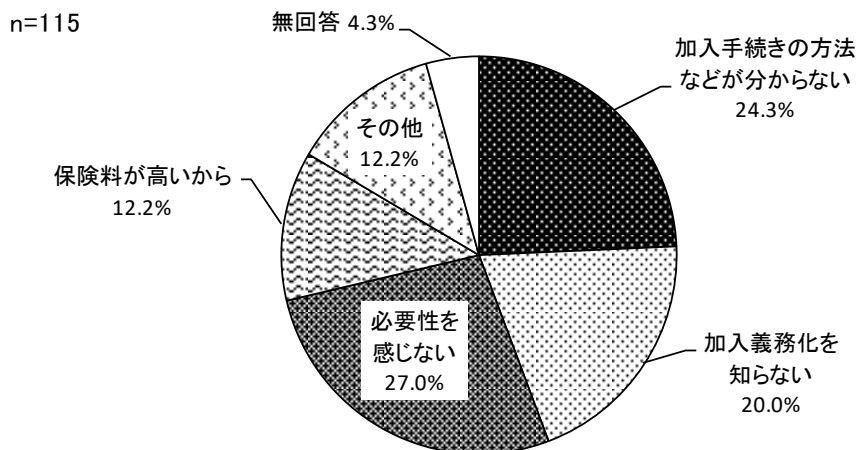
問 32 あなたは、自転車事故に係る損害賠償保険に加入していますか。(○は1つ)



自転車を使う人に自転車事故に係る損害賠償保険へ加入しているか聞いたところ、加入している保険は「自転車事故専用の保険」が 20.4%で最も高く、次いで、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」（14.5%）、「傷害保険等とセット」（11.8%）などとなっている。《加入している（合計）》は 59.8%となっている。

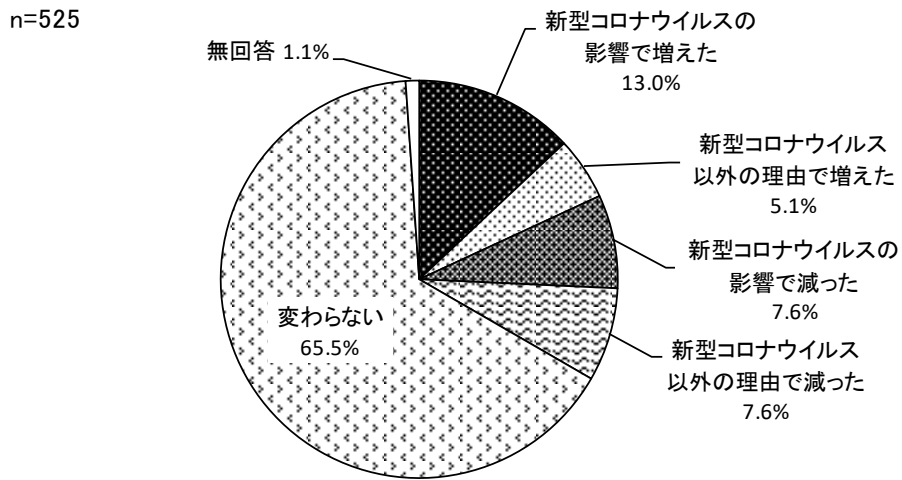
一方、「加入していない」は 21.9%、「加入しているかわからない」は 14.5%となっている。

問 32-1 あなたが保険に加入していない理由は、何ですか。(○は1つ)



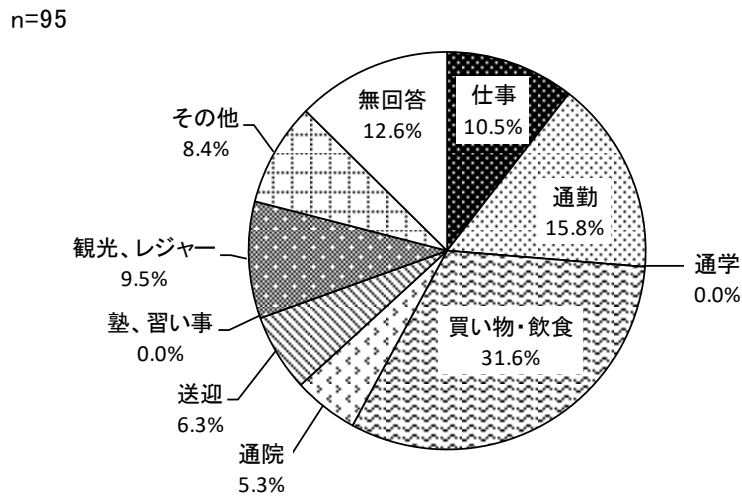
自転車事故に係る損害賠償保険に加入していない理由について聞いたところ、「必要性を感じない」が 27.0%で最も高く、次いで、「加入手続きの方法などが分からない」（24.3%）、「加入義務化を知らない」（20.0%）となっている。

問 33 前年に比べ、自転車を使う機会が増えましたか。(〇は1つ)



前年と比べて自転車を使う頻度について聞いたところ、「変わらない」が 65.5%で最も高く、次いで、「新型コロナウイルスの影響で増えた」(13.0%)、「新型コロナウイルスの影響で減った」「新型コロナウイルス以外の理由で減った」(ともに7.6%)となっている。

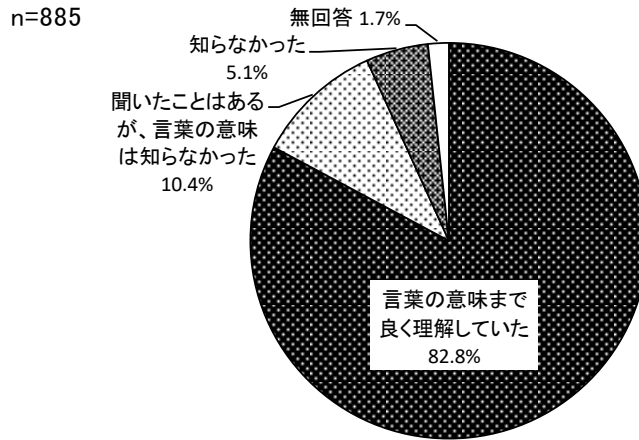
問 33-1 自転車を使う機会が増えた主な理由は、何ですか。(〇は1つ)



自転車を使う機会が増えた主な理由について聞いたところ、「買い物・飲食」が 31.6%で最も高く、次いで、「通勤」(15.8%)、「仕事」(10.5%)となっている。

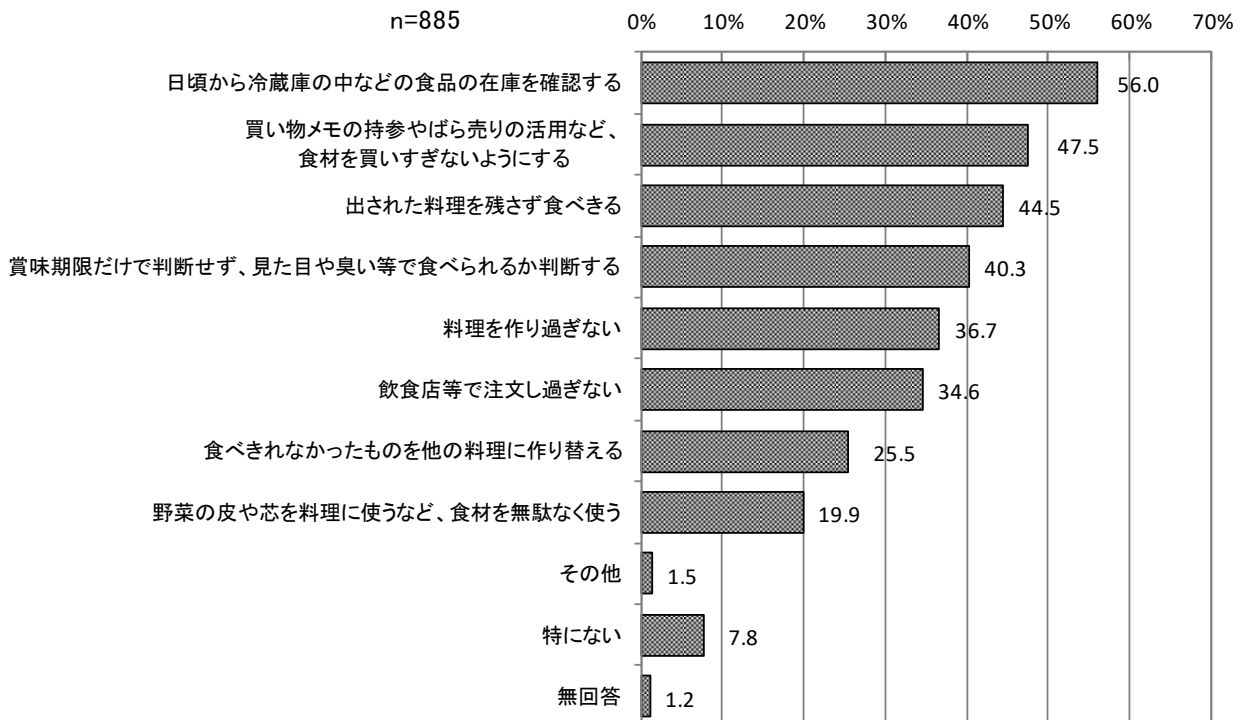
(13) 食品ロス・フードドライブについて

問 34 あなたは、「食品ロス」という言葉をご存知ですか。(〇は1つ)



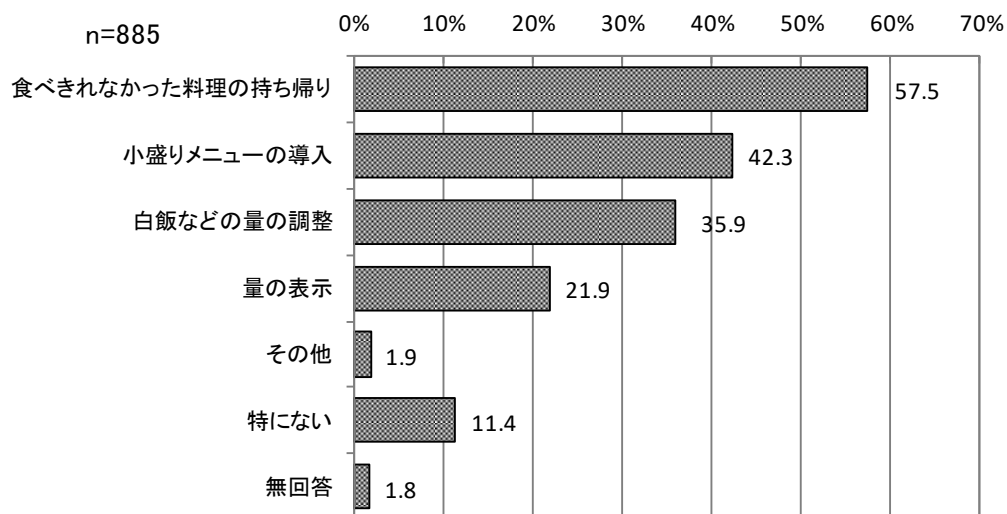
「食品ロス」の認知度について聞いたところ、「言葉の意味まで良く理解していた」が 82.8%、「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった」が 10.4%、「知らなかった」が 5.1%となっている。

問 35 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)



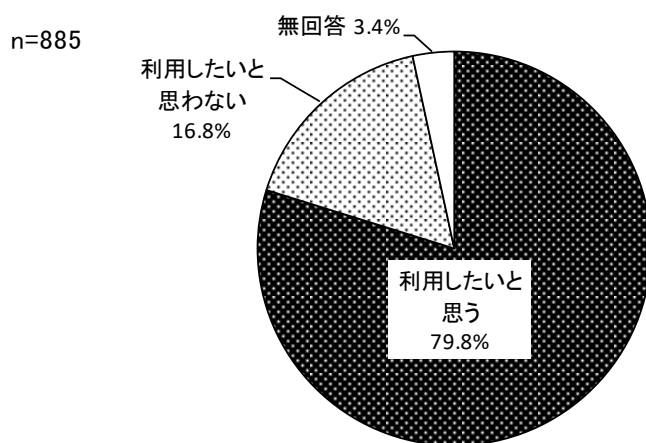
「食品ロス」を減らすために取り組んでいることを聞いたところ、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が 56.0%で最も高く、次いで、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」(47.5%)、「出された料理を残さず食べきる」(44.5%)となっている。

問 36 外食をするとき、食べ残しをしないためにお店にして欲しいことは何ですか。
(〇はいくつでも)



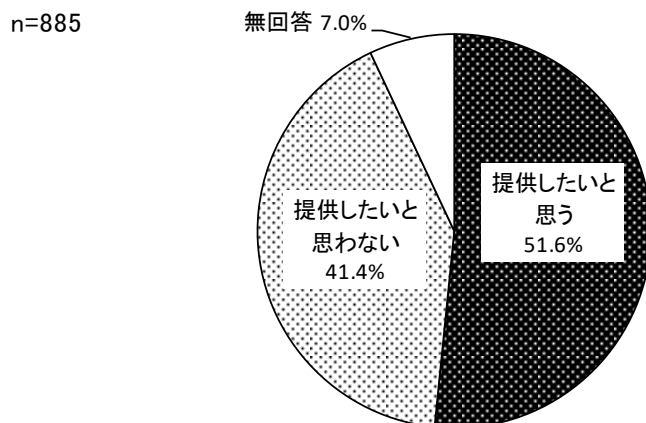
食べ残しをしないためにお店にして欲しいことについて聞いたところ、「食べきれなかった料理の持ち帰り」が 57.5% で最も高く、次いで、「小盛りメニューの導入」(42.3%)、「白飯などの量の調整」(35.9%) となっている。

問 37 食品ロス削減に取り組む飲食店や食料品小売店等の情報があれば、そのお店を利用したいと思いますか。(〇は1つ)



食品ロス削減に取り組むお店の情報があれば、そのお店を利用したいか聞いたところ、「利用したいと思う」が 79.8%、「利用したいと思わない」が 16.8% となっている。

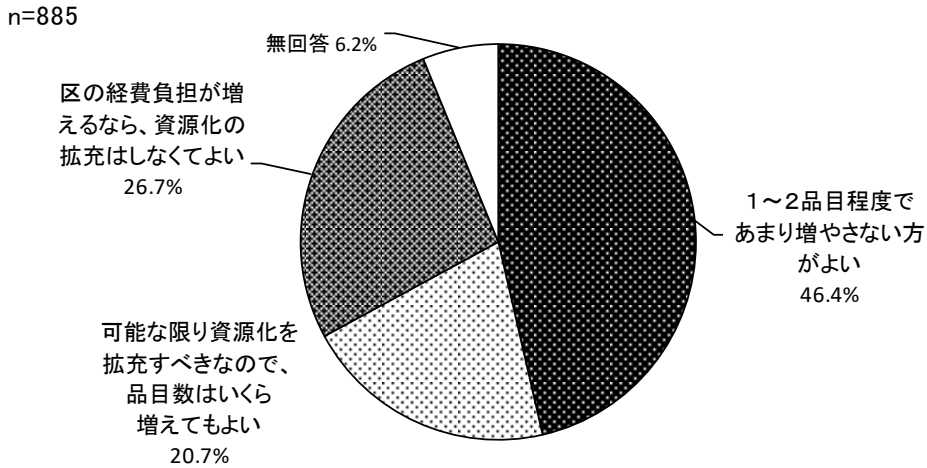
問 38 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思いますか。(〇は1つ)



「フードドライブ」への提供について聞いたところ、「提供したいと思う」が 51.6%、「提供したいと思わない」が 41.4%となっている。

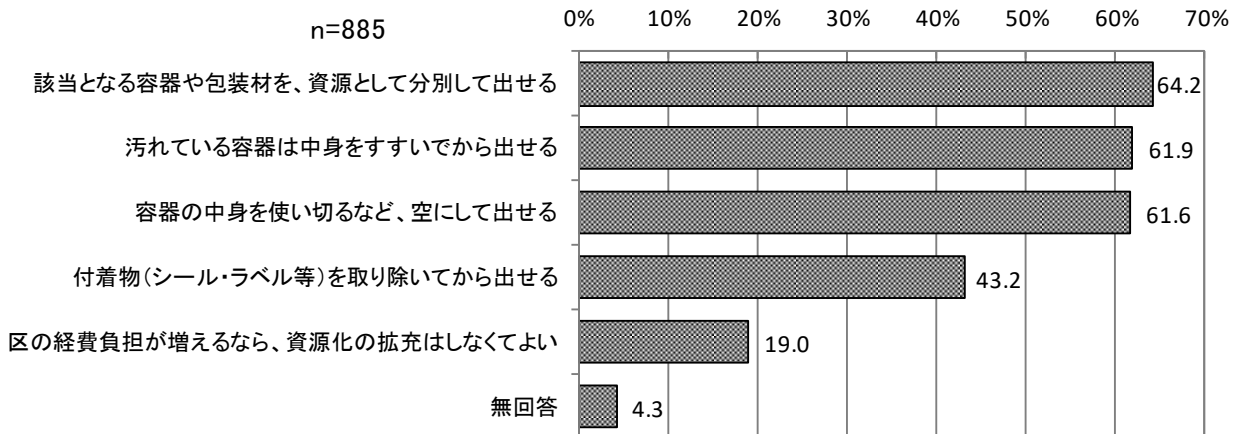
(14) プラスチック容器の回収について

問 39 今まで可燃ごみとして出していたプラスチック製の容器や包装材を、今後資源として回収することになった場合、どの程度品目を増やすことが適当だと考えますか。
(最も近いもの1つに○)



プラスチック容器の資源化のために適当な品目数について聞いたところ、「1~2品目程度あまり増やさない方がよい」が46.4%で最も高く、次いで、「区を経費負担が増えるなら、資源化の拡充はしなくてよい」(26.7%)、「可能な限り資源化を拡充すべきなので、品目数はいくら増えてもよい」(20.7%)となっている。

問 40 今まで可燃ごみとして出していたプラスチック製の容器や包装材を、今後資源として回収することになった場合、どこまでなら手間をかけることができますか。(○はいくつでも)

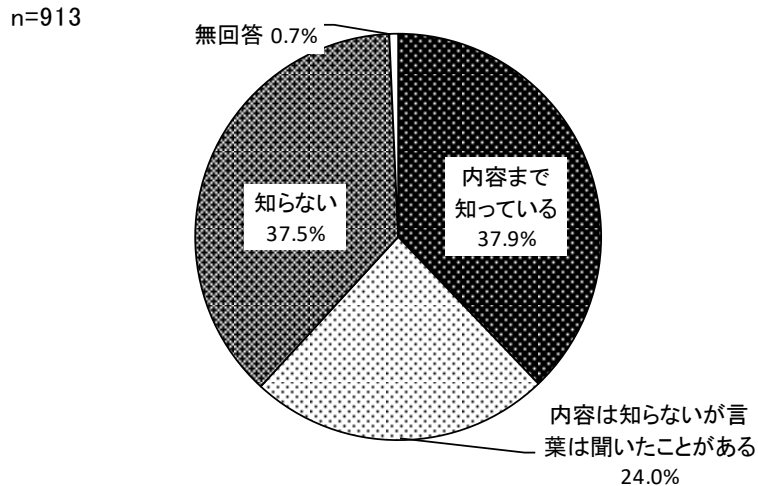


プラスチック容器の資源化のために、どこまで手間をかけられるかについて聞いたところ、「該当となる容器や包装材を、資源として分別して出せる」が64.2%で最も高く、次いで、「汚れている容器は中身をすすいでから出せる」(61.9%)、「容器の中身を使い切るなど、空にして出せる」(61.6%)となっている。

18歳以上の区民の方が対象 ②スポーツ・福祉・保健分野などの調査

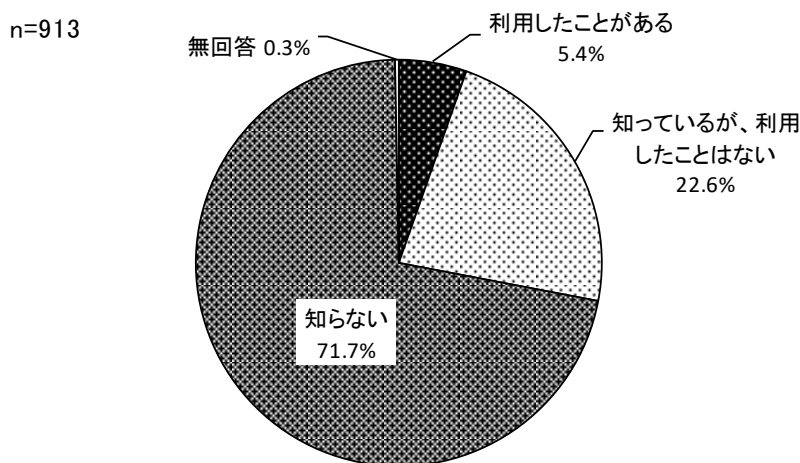
(1) 各種認知度について

問1 「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉ですが、あなたはこの言葉を知っていましたか。(〇は1つ)



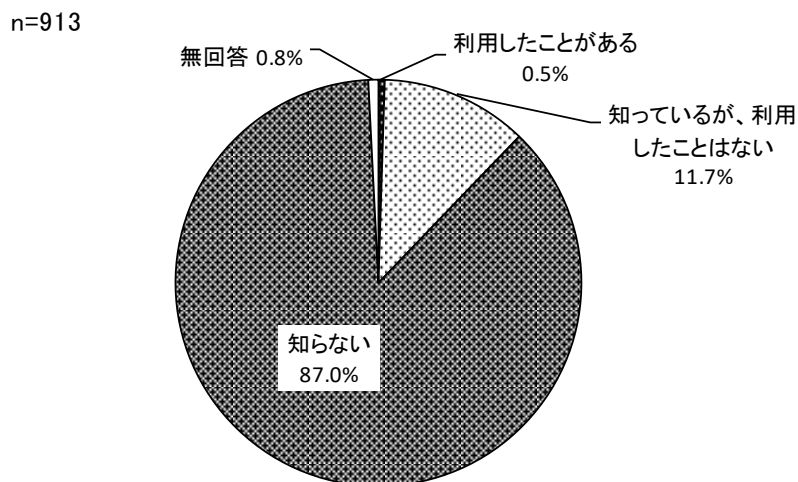
「ワーク・ライフ・バランス」の認知度について聞いたところ、「内容まで知っている」が37.9%、「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」が24.0%、「知らない」が37.5%となっている。

問2 区では、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みとして様々な講座や展示などの事業を実施しています。これらを主に実施している施設である、男女平等推進センター「エセナおおた」を知っていますか。(〇は1つ)



「エセナおおた」の認知度について聞いたところ、「知っているが、利用したことはない」(22.6%)、「利用したことがある」(5.4%)を合わせた《知っている(合計)》は28.0%となっている。一方、「知らない」は71.7%となっている。

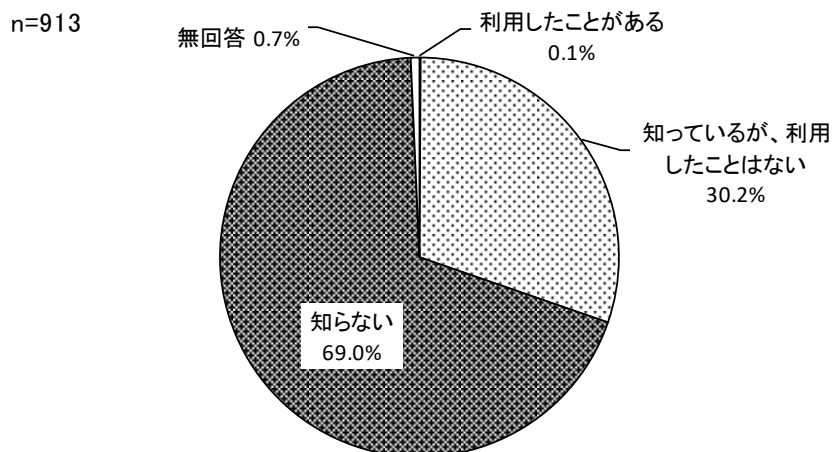
問3 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。(〇は1つ)



「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度について聞いたところ、「利用したことがある」(0.5%)、「知っているが利用したことはない」(11.7%)を合わせた《知っている(合計)》は12.2%となっている。

一方、「知らない」は87.0%となっている。

問4 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV)に関する相談を受け付けていることを知っていますか。(〇は1つ)

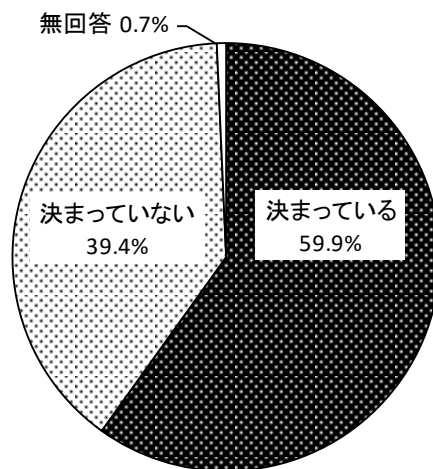


「大田区DV相談ダイヤル」の認知度について聞いたところ、「利用したことがある」(0.1%)、「知っているが、利用したことはない」(30.2%)を合わせた《知っている(合計)》は30.3%となっている。

一方、「知らない」が69.0%となっている。

問5 災害時の避難先は決まっていますか。(〇は1つ)

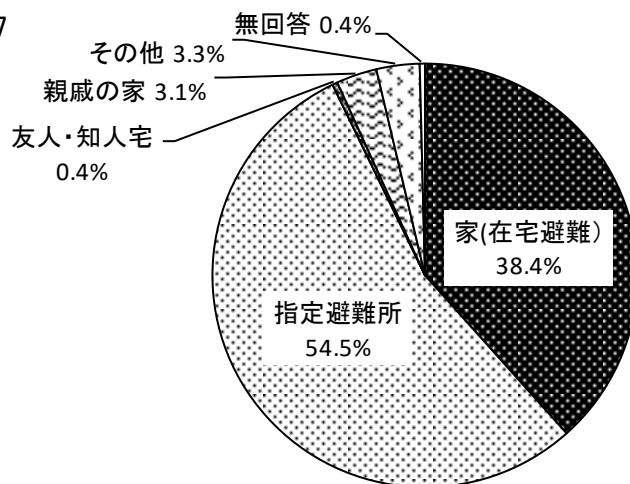
n=913



災害時の避難先を決めているかについて聞いたところ、「決まっている」が59.9%、「決まっていない」が39.4%となっている。

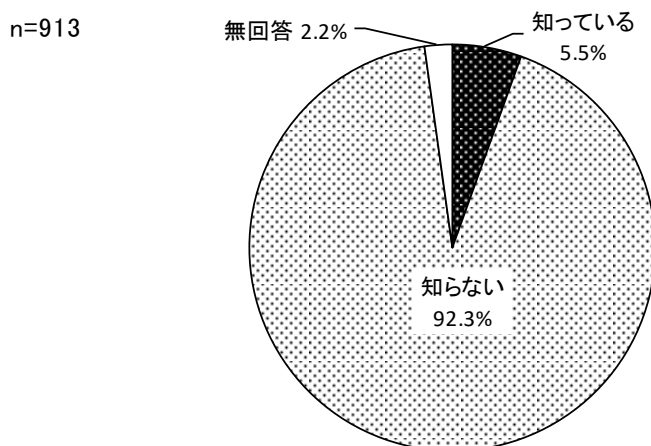
問5-1 避難先はどこですか。(〇は1つ)

n=547



災害時の避難場所について聞いたところ、「指定避難所」が54.5%で最も高く、次いで、「家(在宅避難)」(38.4%) となっている。

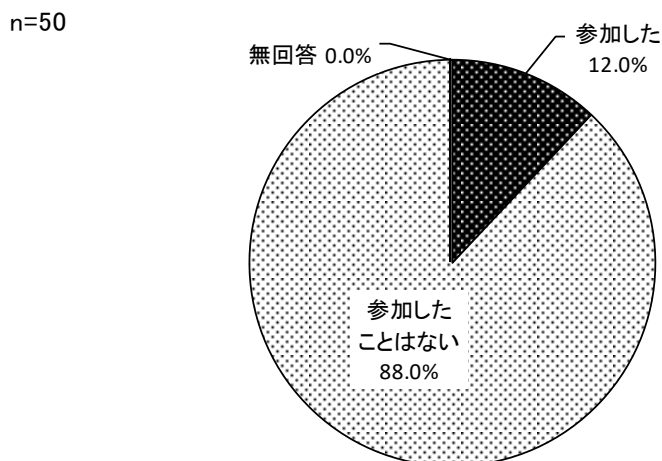
問6 区は大規模水害に備え、家族構成や生活環境に合わせた防災行動を予め時系列にまとめておく「マイ・タイムライン（個人の避難計画）」の普及を進めています。が、「マイ・タイムライン講習会」を開催していることを知っていますか。（○は1つ）



「マイ・タイムライン講習会」の認知度について聞いたところ、「知っている」が5.5%、「知らない」が92.3%となっている。

問6-1 マイ・タイムライン講習会に参加したことがありますか。（○は1つ）

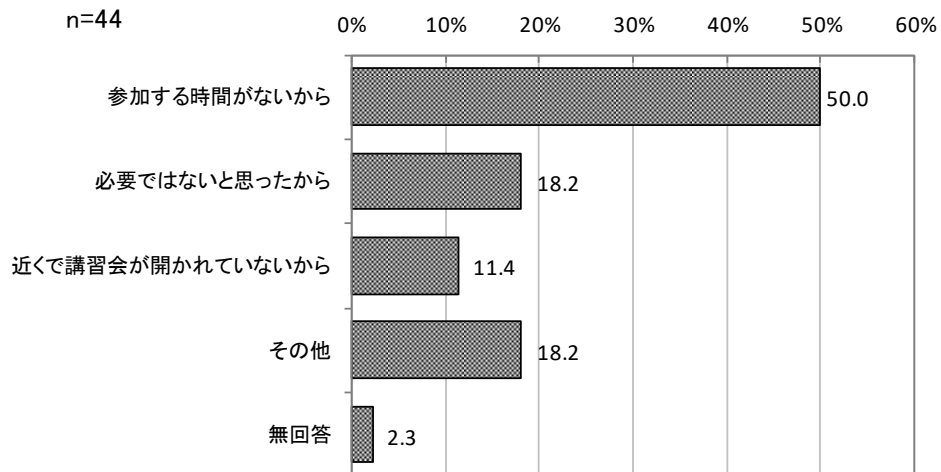
問6-2 マイ・タイムライン講習会に参加した理由は何ですか。（○はいくつでも）



「マイ・タイムライン講習会」への参加したことがあるか聞いたところ、「参加した」は12.0%、「参加したことはない」が88.0%となっている。

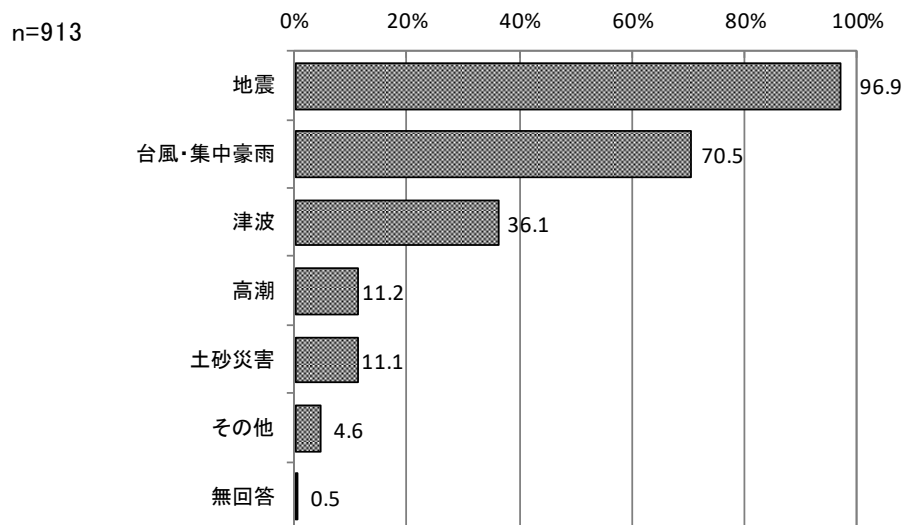
「マイ・タイムライン講習会」へ参加した人（n=6）に参加した理由を聞いたところ、全員が「災害への備えが必要と思ったから」と回答した。

問6-3 マイ・タイムライン講習会に参加したことがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



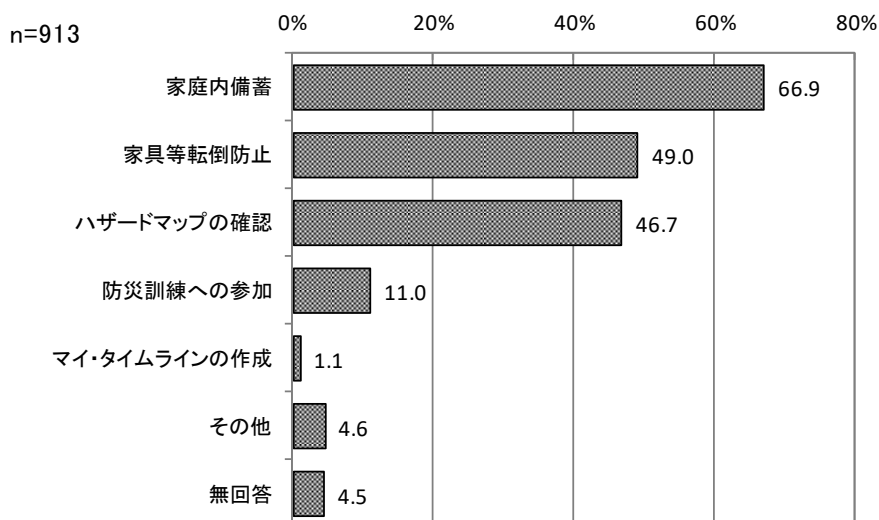
「マイ・タイムライン講習会」へ参加したことがない理由を聞いたところ、「参加する時間がないから」が50.0%で最も高く、次いで、「必要ではないと思ったから」(18.2%)、「近くで講習会が開かれていないから」(11.4%)となっている。

問7 自然災害で不安だと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)



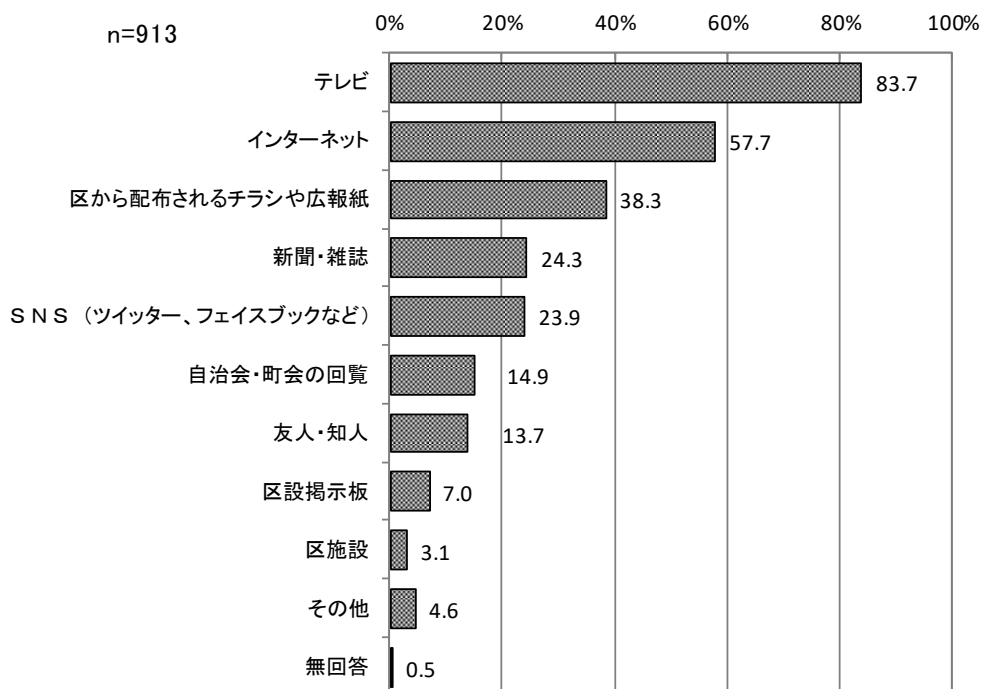
自然災害で不安だと思うものについて聞いたところ、「地震」が96.9%で最も高く、次いで、「台風・集中豪雨」(70.5%)、「津波」(36.1%)となっている。

問8 災害から自身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)



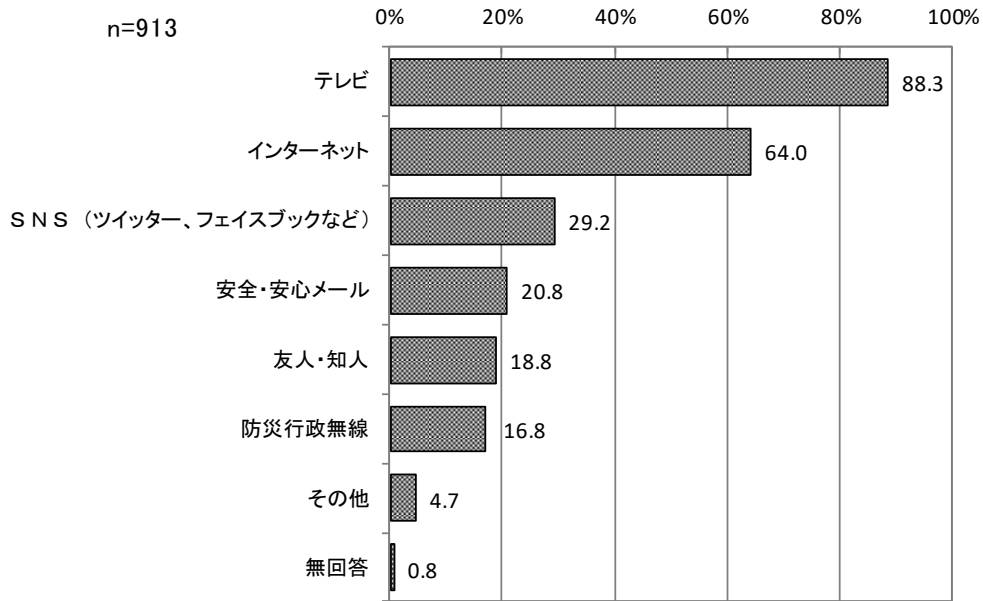
災害から自身を守るためにどのような取り組みをしているか聞いたところ、「家庭内備蓄」が66.9%で最も高く、次いで、「家具等転倒防止」(49.0%)、「ハザードマップの確認」(46.7%)となっている。

問9 「防災に関する情報」をどのように収集していますか。(〇はいくつでも)



防災に関する情報の収集方法について聞いたところ、「テレビ」が83.7%で最も高く、次いで、「インターネット」(57.7%)、「区から配布されるチラシや広報紙」(38.3%)となっている。

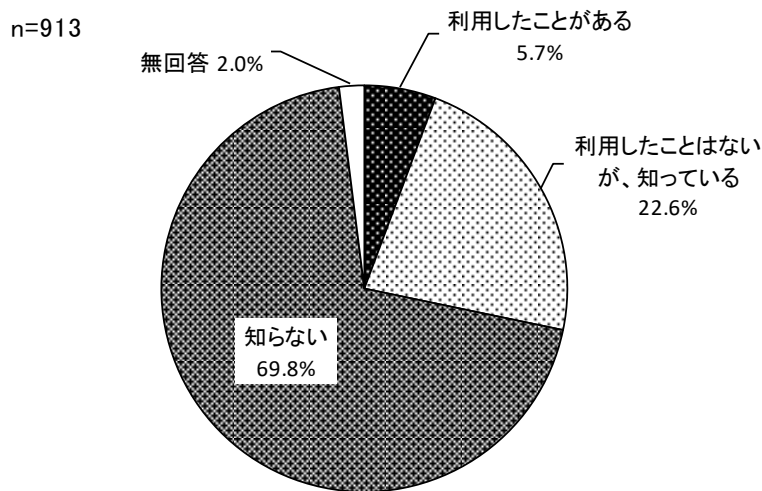
問 10 「災害時の情報」をどのように収集していますか。(〇はいくつでも)



災害時の情報の収集方法について聞いたところ、「テレビ」が 88.3%で最も高く、次いで、「インターネット」(64.0%)、「SNS (ツイッター、フェイスブックなど)」(29.2%)となっている。

(2) 観光について

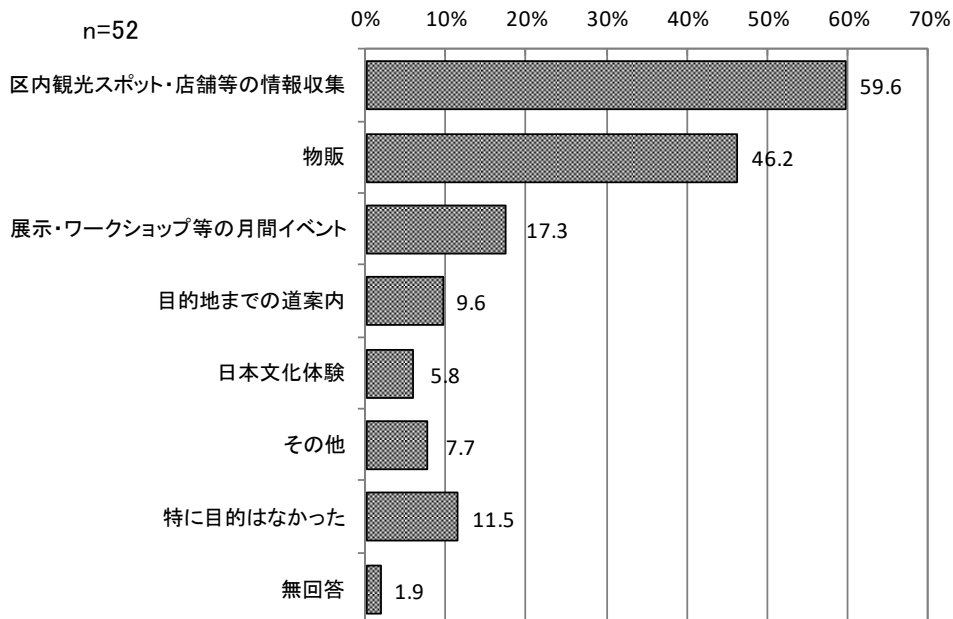
問 11 大田区観光情報センターを利用したことはありますか。(〇は1つ)



「大田区観光情報センター」を利用したことがあるか聞いたところ、「利用したことがある」(5.7%)、「利用したことはないが、知っている」(22.6%)を合わせた《知っている(合計)》は 28.3%となっている。

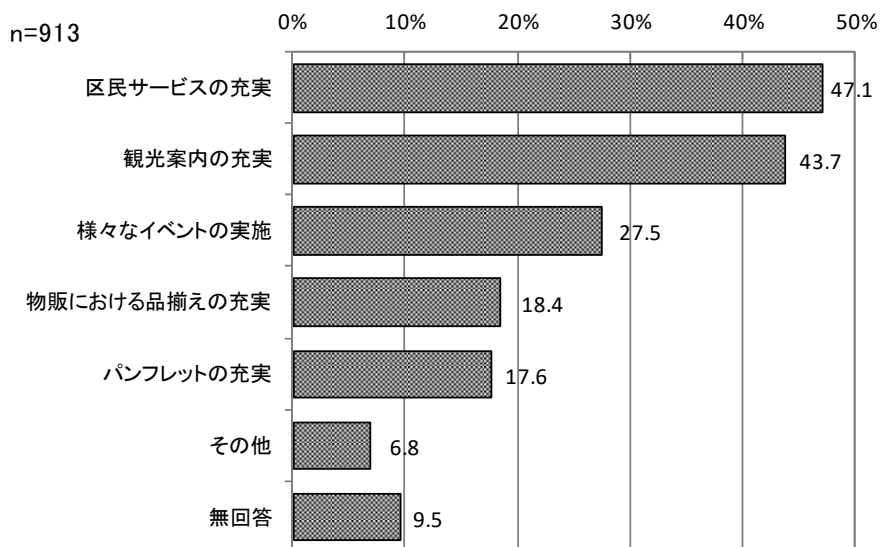
一方、「知らない」が 69.8%となっている。

問 11-1 どのような目的で利用しましたか。(〇はいくつでも)



「大田区観光情報センター」の利用目的について聞いたところ、「区内観光スポット・店舗等の情報収集」が 59.6%で最も高く、次いで、「物販」(46.2%)、「展示・ワークショップ等の月間イベント」(17.3%) となっている。

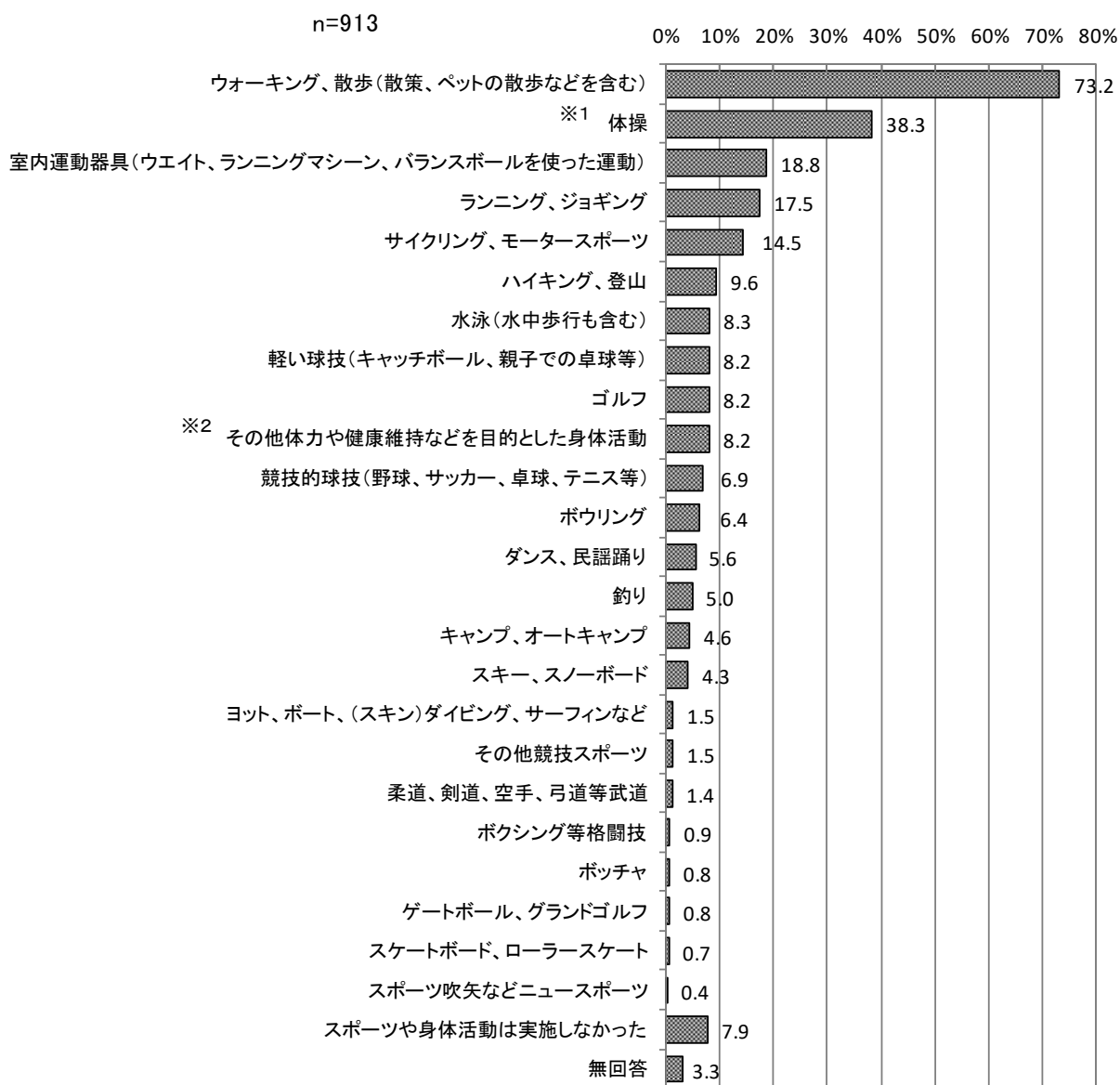
問 12 大田区観光情報センターに今後期待することは何ですか。(〇はいくつでも)



「大田区観光情報センター」へ期待することを聞いたところ、「区民サービスの充実」が 47.1%で最も高く、次いで、「観光案内の充実」(43.7%)、「様々なイベントの実施」(27.5%) となっている。

(3) 運動・スポーツについて

問 13 この中にあなたが、この1年間で行ったスポーツや運動があれば、すべてお選びください。
(〇はいくつでも)

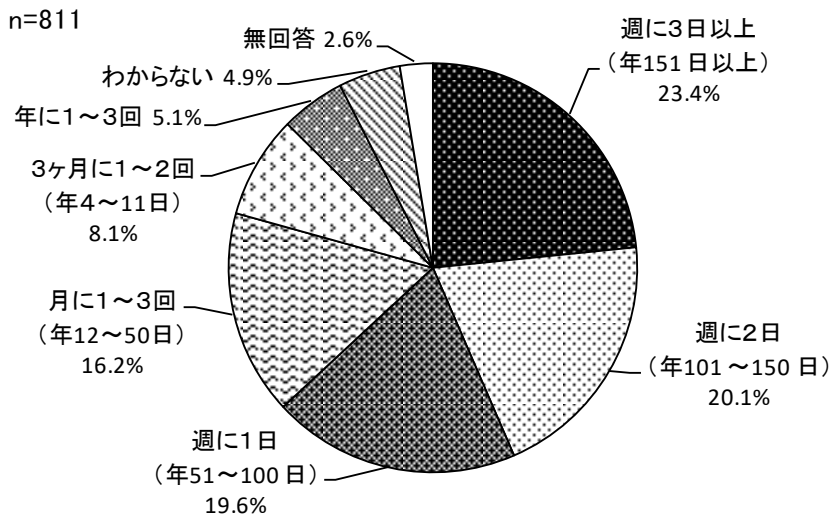


※1 体操 (ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む)

※2 その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動

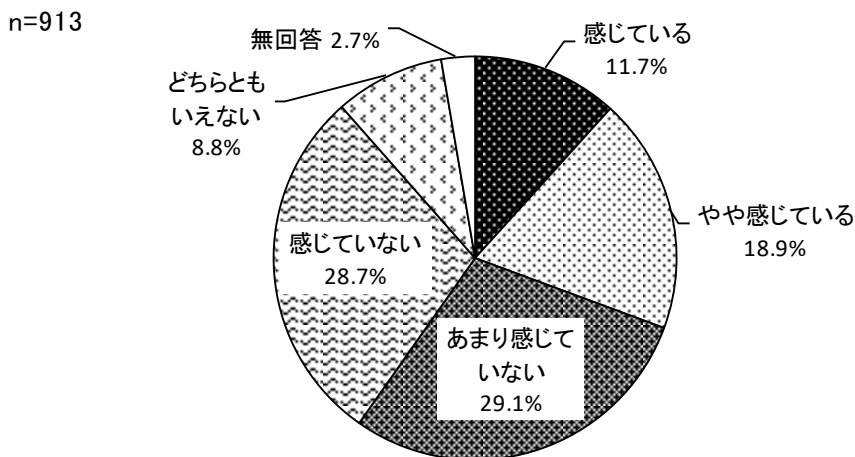
最近1年で行った運動・スポーツについて聞いたところ、「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)」が73.2%で最も高く、次いで、「体操(ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む)」(38.3%)、「室内運動器具(ウエイト、ランニングマシン、バランスボールを使った運動)」(18.8%)となっている。

問 13-1 この1年間に運動・スポーツ活動を実施した日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか。(週での換算日数) (○は1つ)



最近1年間の運動・スポーツの活動頻度について聞いたところ、「週に3日以上 (年 151 日以上)」が 23.4%で最も高く、次いで、「週に2日 (年 101~150 日)」(20.1%)、「週に1日 (年 51~100 日)」(19.6%) などとなっている。

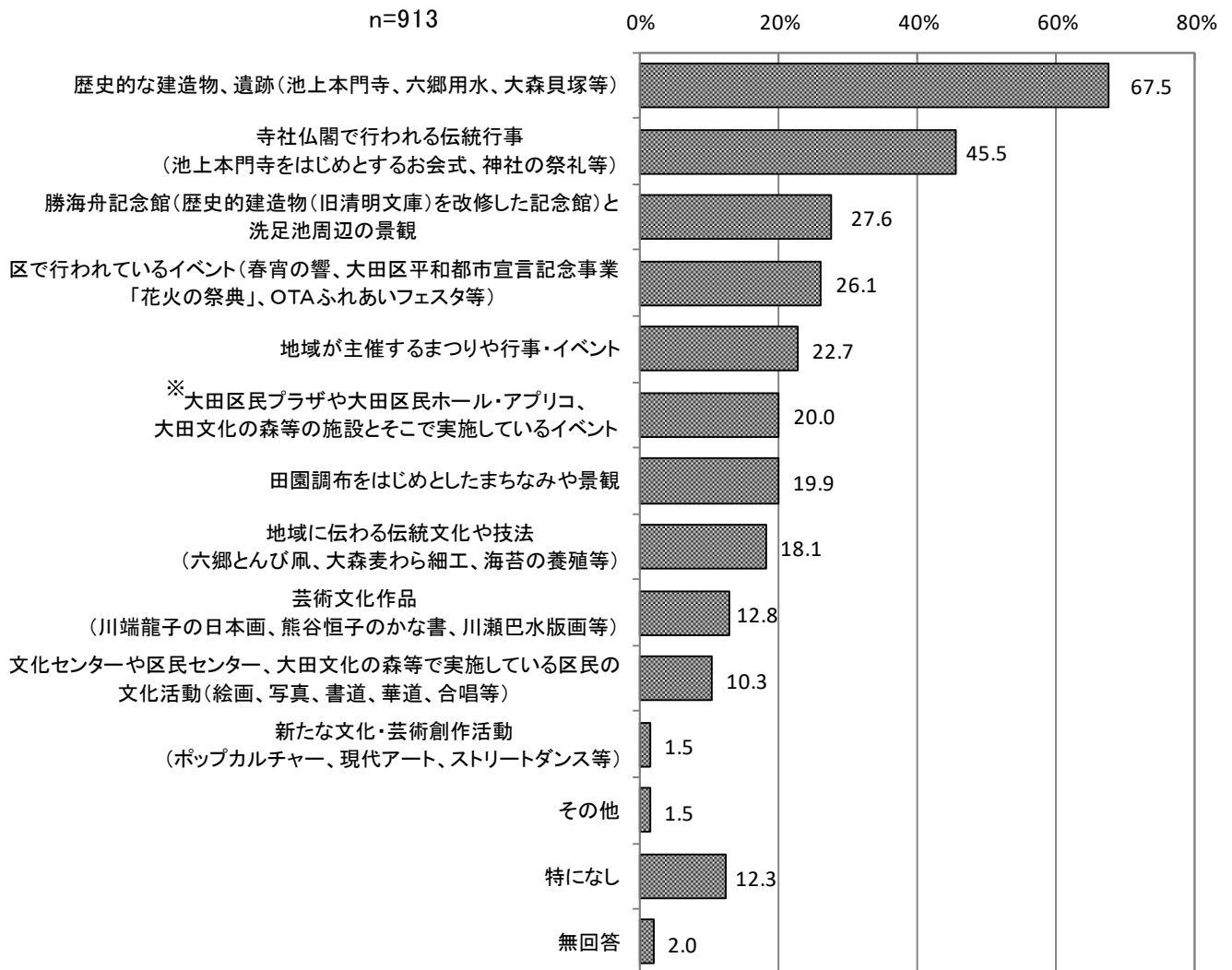
問 14 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が身近になってきたと感じますか。(○は1つ)



東京 2020 大会が身近に感じるか聞いたところ、「あまり感じていない」が 29.1%で最も高く、「感じていない」(28.7%) と合わせた《感じていない (合計)》は 57.8%となっている。「感じている」(11.7%) と「やや感じている」(18.9%) を合わせた《感じている (合計)》は 30.6%となっている。

(4) 文化活動について

問 15 大田区の文化・芸術として思い浮かぶものはどのようなものですか。(〇はいくつでも)

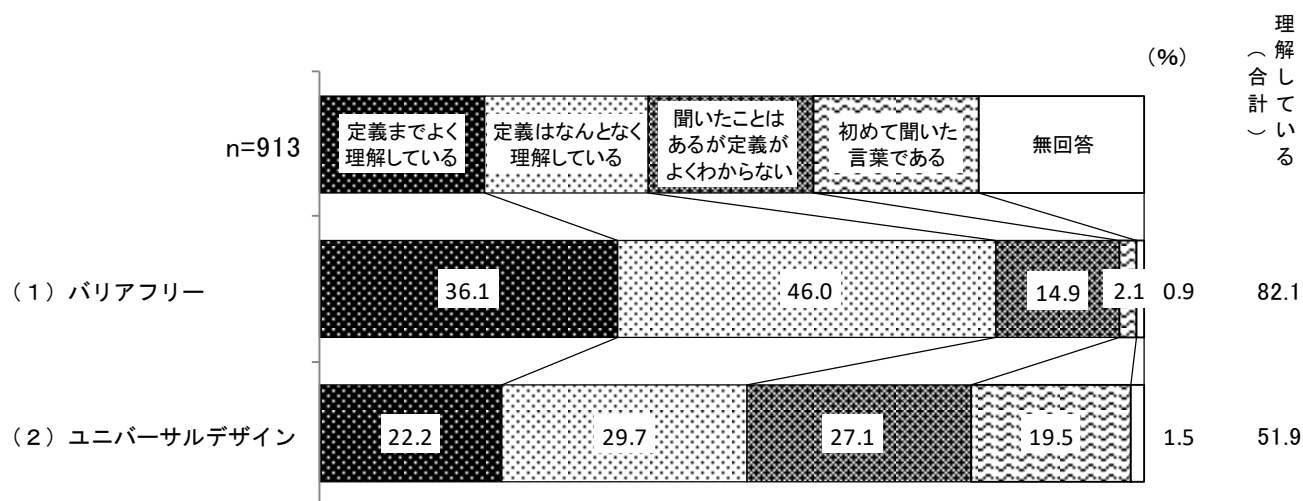


※ 大田区民プラザや大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森等の施設とそこで実施しているイベント
(下丸子JAZZ倶楽部、下丸子らくご倶楽部、アプリコみんなの音楽祭、大田区在住作家美術展等)

大田区の文化・芸術として思い浮かぶものについて聞いたところ、「歴史的な建造物、遺跡(池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等)」が67.5%で最も高く、次いで、「寺社仏閣で行われる伝統行事(池上本門寺をはじめとするお会式、神社の祭礼等)」(45.5%)、「勝海舟記念館(歴史的建造物(旧清明文庫)を改修した記念館)と洗足池周辺の景観」(27.6%)となっている。

(5) バリアフリーについて

問 16 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」という言葉をご存知ですか。
(○はそれぞれ1つ)

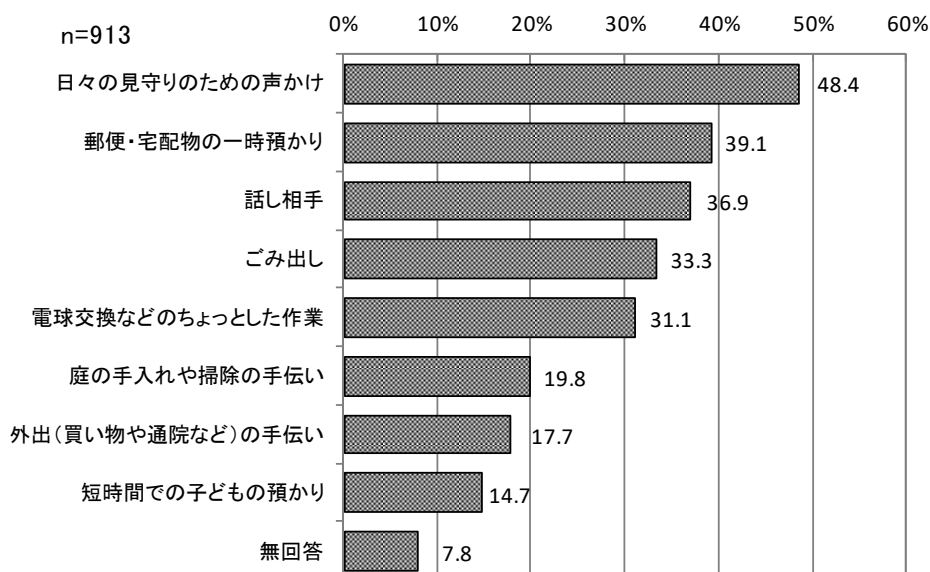


【バリアフリー】の認知度について聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」が46.0%で最も高く、「定義までよく理解している」(36.1%)と合わせた《理解している(合計)》は82.1%となっている。

【ユニバーサルデザイン】の認知度について聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」が29.7%で最も高く、「定義までよく理解している」(22.2%)と合わせた《理解している(合計)》は51.9%となっている。

(6) 施策等の認知度について

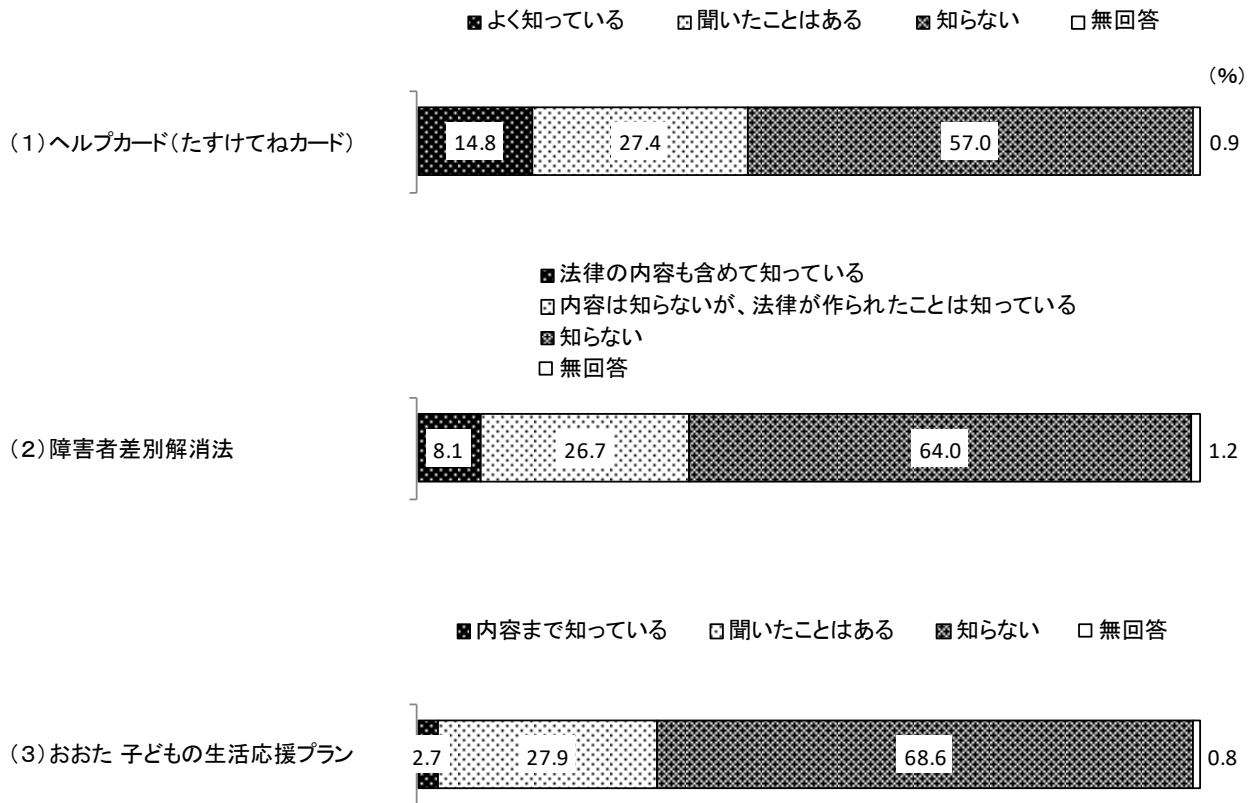
問 17 あなたが近所の方から次のことを頼まれた場合、手助けできると思うことを教えてください。(○はいくつでも)



近所への手助けについて聞いたところ、「日々の見守りのための声かけ」が48.4%で最も高く、次いで、「郵便・宅配物の一時預かり」(39.1%)、「話し相手」(36.9%)となっている。

問 18 以下の（１）～（３）の制度、計画などをご存知ですか。（○はそれぞれ１つ）

n=913



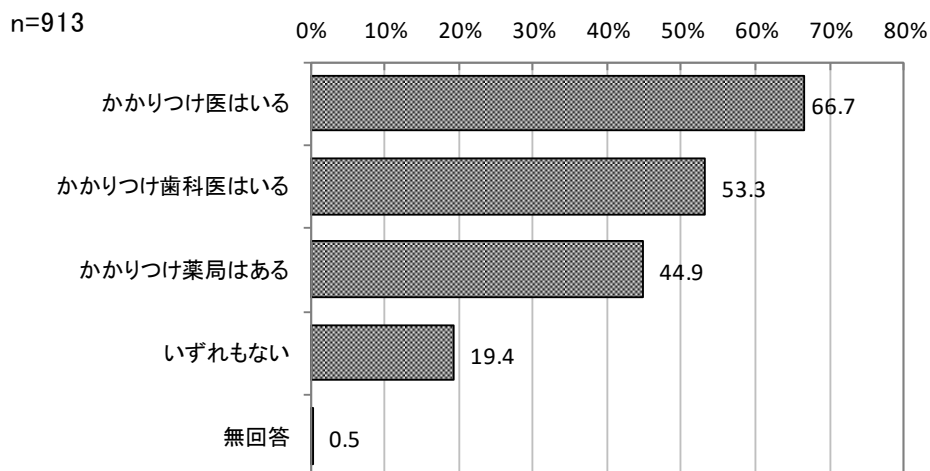
【ヘルプカード（たすけてねカード）】を知っているか聞いたところ、「よく知っている」が14.8%、「聞いたことはある」が27.4%、「知らない」が57.0%となっている。

【障害者差別解消法】を知っているか聞いたところ、「法律の内容も含めて知っている」が8.1%、「内容は知らないが、法律が作られたことは知っている」が26.7%、「知らない」が64.0%となっている。

【おおた 子どもの生活応援プラン】の認知度について聞いたところ、「内容まで知っている」が2.7%、「聞いたことはある」が27.9%、「知らない」が68.6%となっている。

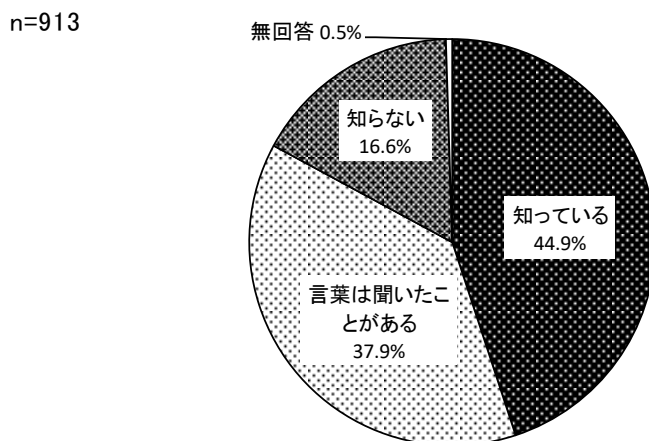
(7) 通院、在宅医療について

問 19 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(〇はいくつでも)



かかりつけの医療機関について聞いたところ、「かかりつけ医はいる」が 66.7%で最も高く、次いで、「かかりつけ歯科医はいる」(53.3%)、「かかりつけ薬局はある」(44.9%) などとなっている。

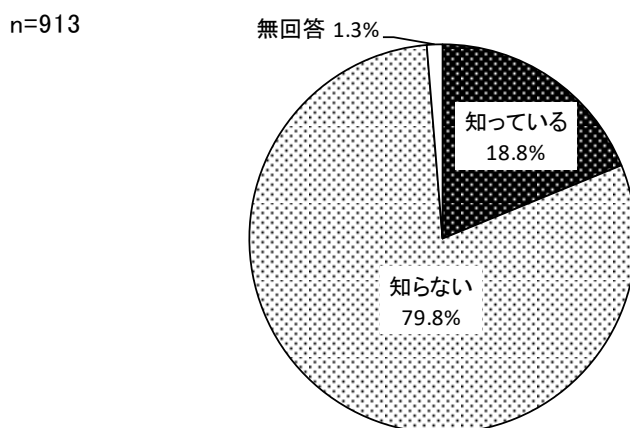
問 20 「在宅医療」の制度や仕組みについて知っていますか。(〇は1つ)



「在宅医療」の認知度について聞いたところ、「知っている」が 44.9%、「言葉は聞いたことがある」が 37.9%、「知らない」が 16.6%となっている。

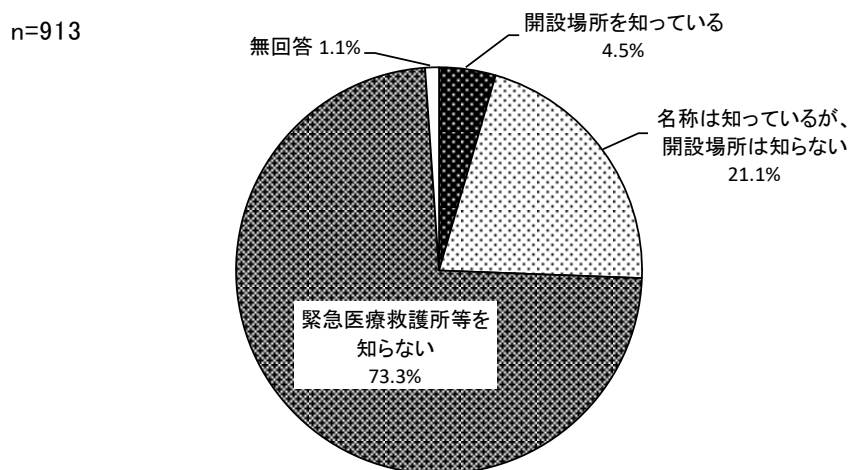
(8) 災害時の医療について

問 21 区内で震度 6 弱以上の大地震が発生し、ライフラインが停止した場合、医療を提供可能な施設が限定されることを、ご存知ですか。(〇は 1 つ)



災害時に医療を提供可能な施設が限定されることを知っているか聞いたところ、「知っている」が 18.8%、「知らない」が 79.8%となっている。

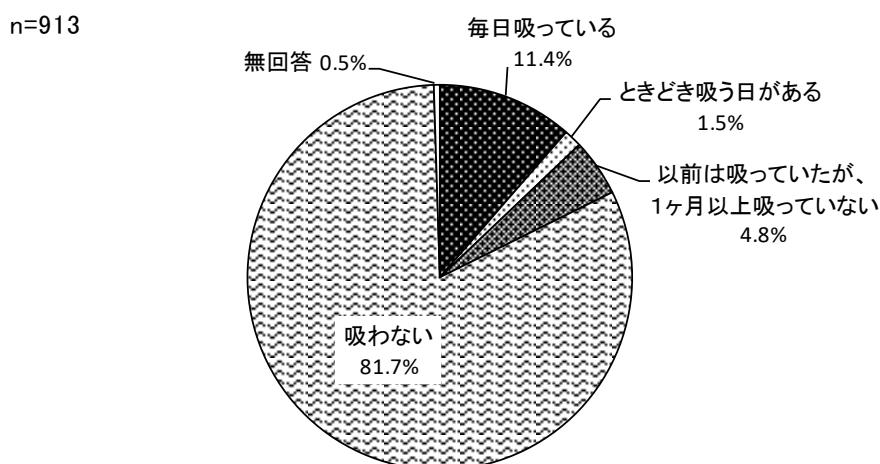
問 22 区内で震度 6 弱以上の大地震が発生し、ライフラインが停止した場合に開設する緊急医療救護所及び軽症者救護所の開設場所を知っていますか。(〇は 1 つ)



災害時の緊急医療開設場所の認知度について聞いたところ、「緊急医療救護所等を知らない」が 73.3%で最も高く、次いで、「名称は知っているが、開設場所は知らない」(21.1%)、「開設場所を知っている」(4.5%)となっている。

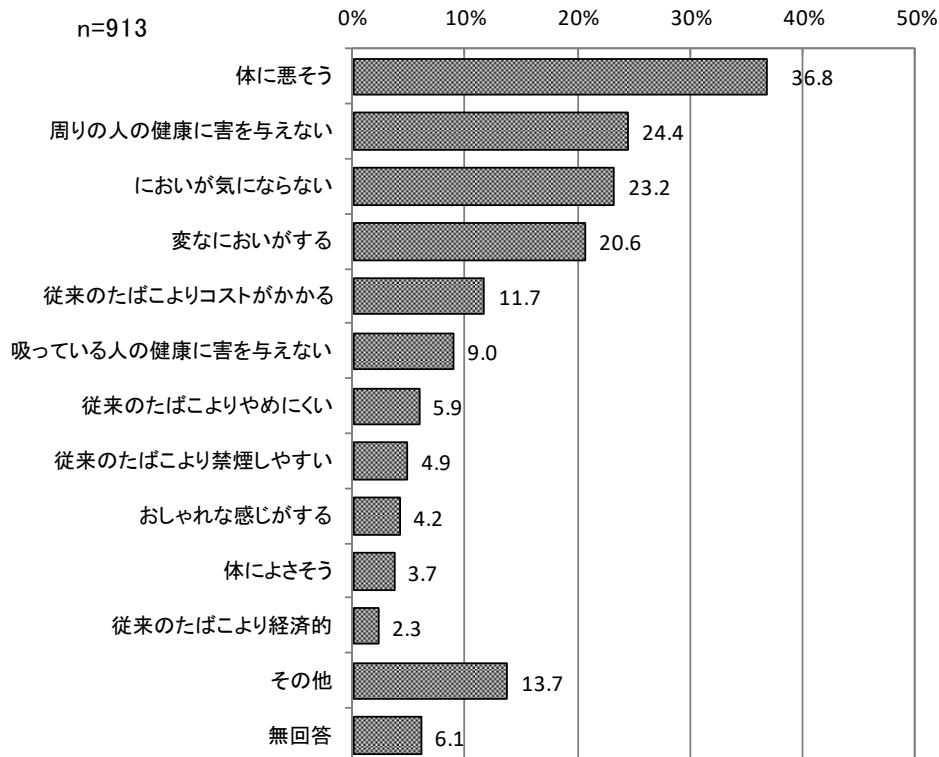
(9) 喫煙について

問 23 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)



喫煙について聞いたところ、「吸わない」が 81.7%で最も高く、次いで、「毎日吸っている」(11.4%)、「以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない」(4.8%)となっている。

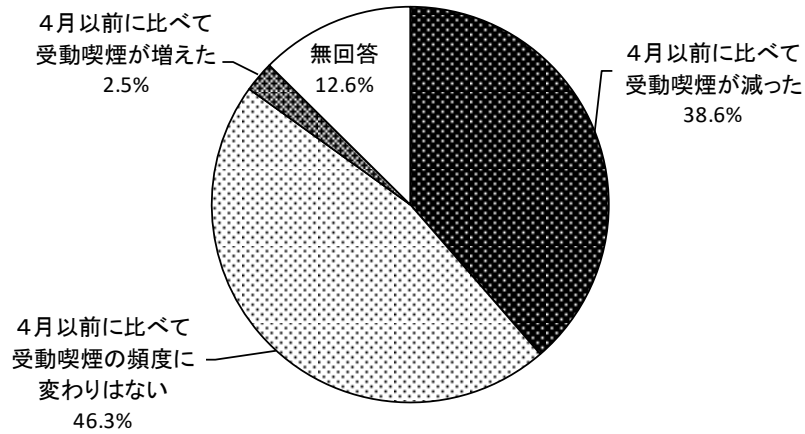
問 24 新型たばこ（加熱式たばこ）についてあなたの持っているイメージであてはまるものがありますか。(○はいくつでも)



新型たばこのイメージについて聞いたところ、「体に悪そう」が 36.8%で最も高く、次いで、「周りの人の健康に害を与えない」(24.4%)、「においが気にならない」(23.2%)となっている。

問 25 改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が令和2年4月に全面施行されましたが、4月以降、受動喫煙を経験する頻度に変化がありましたか。(○は1つ)

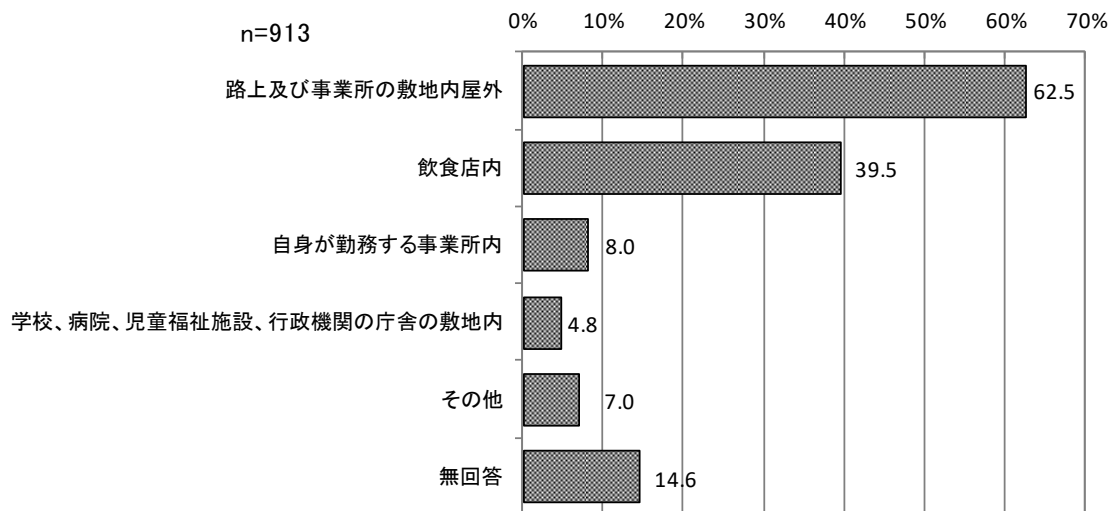
n=913



条例施行後の受動喫煙の頻度の変化について聞いたところ、「4月以前に比べて受動喫煙の頻度に変わりはない」が46.3%で最も高く、次いで、「4月以前に比べて受動喫煙が減った」(38.6%)、「4月以前に比べて受動喫煙が増えた」(2.5%)となっている。

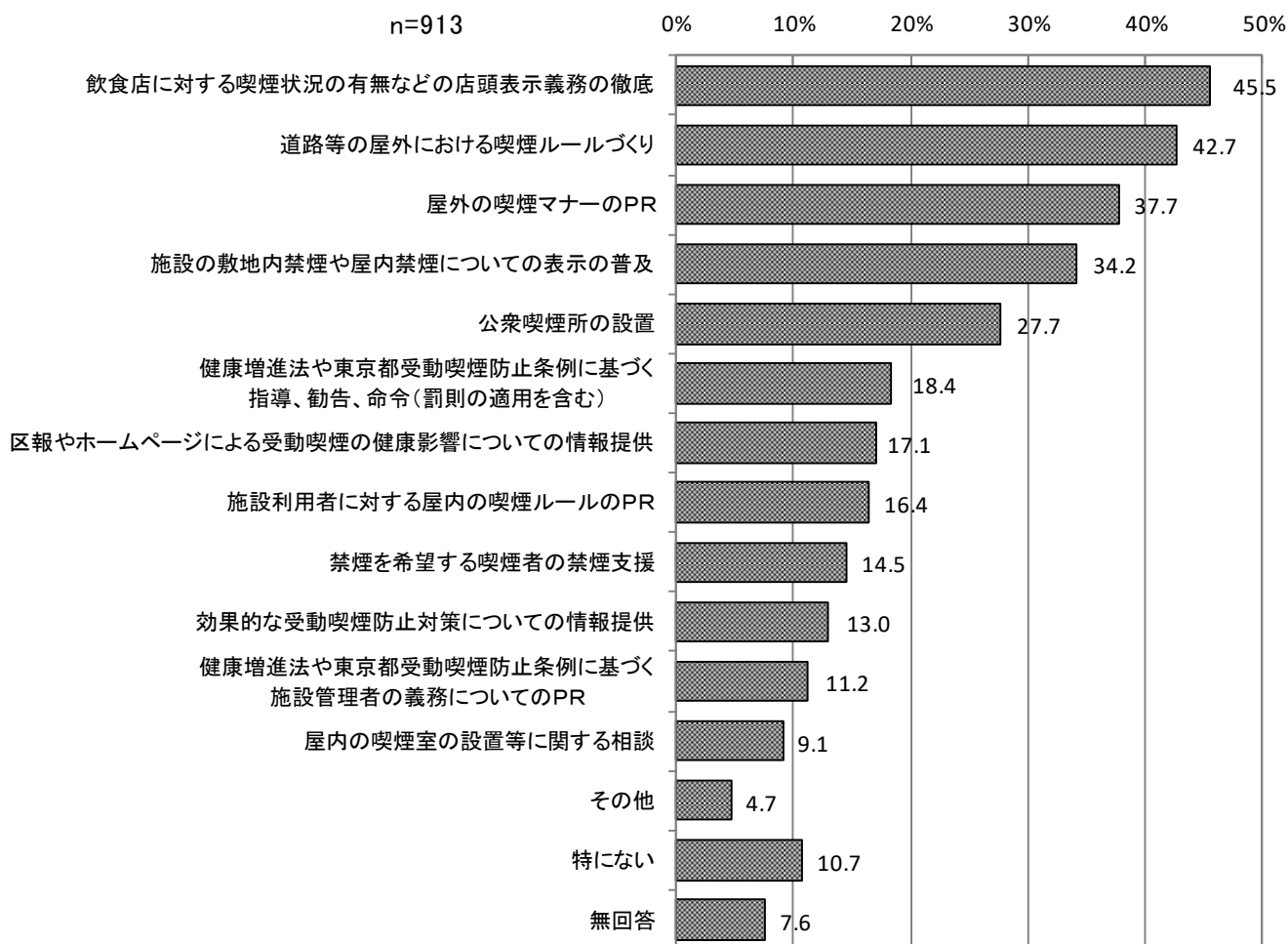
問 26 受動喫煙を経験された場所を教えてください。(○はいくつでも)

n=913



受動喫煙を経験した場所について聞いたところ、「路上及び事業所の敷地内屋外」が62.5%で最も高く、次いで、「飲食店内」(39.5%)、「自身が勤務する事業所内」(8.0%)となっている。

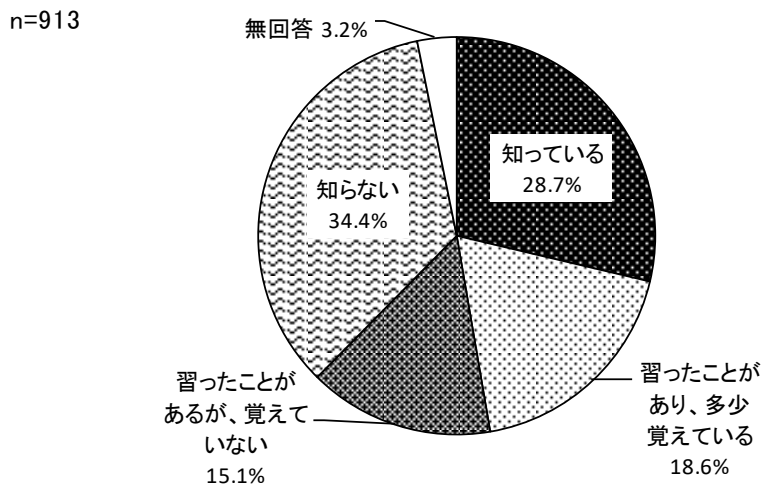
問 27 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(〇はいくつでも)



受動喫煙防止に向け、大田区が推進すべき取り組みについて聞いたところ、「飲食店に対する喫煙状況の有無などの店頭表示義務の徹底」が 45.5%で最も高く、次いで、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」(42.7%)、「屋外の喫煙マナーのPR」(37.7%)となっている。

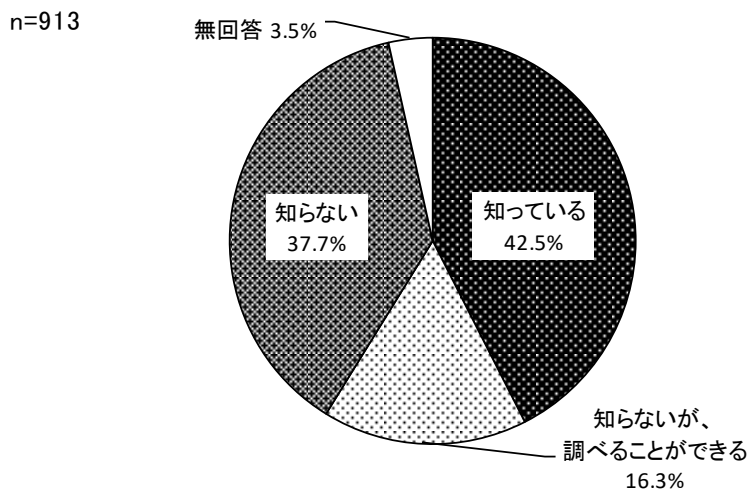
(11) AEDについて

問 28 あなたはAED（自動体外式除細動器）の使い方を知っていますか。（○は1つ）



AEDの使い方の認知度について聞いたところ、「知っている」が28.7%、「習ったことがあり、多少覚えている」が18.6%、「習ったことがあるが、覚えていない」が15.1%、「知らない」が34.4%となっている。

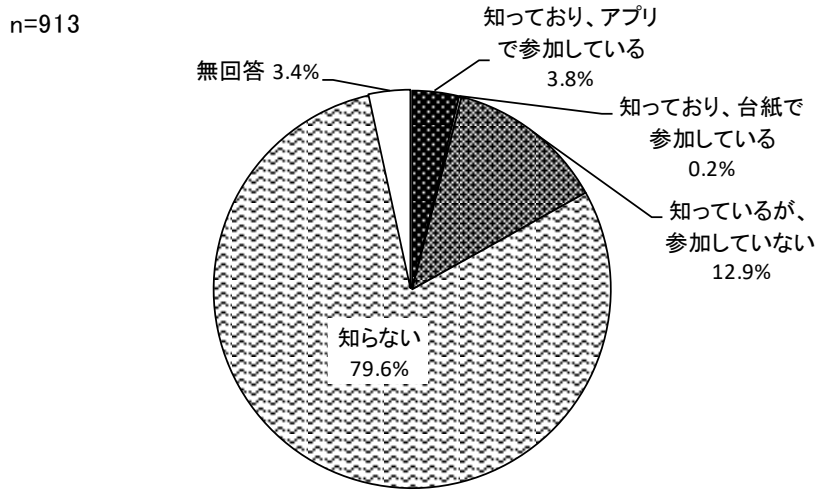
問 29 あなたはご自宅・勤務先等の近くで、AEDが設置されている場所を知っていますか。（○は1つ）



AEDの設置場所の認知度について聞いたところ、「知っている」が42.5%、「知らないが、調べることができる」が16.3%、「知らない」(37.7%)となっている。

(12) はねびょん健康ポイントについて

問 30 大田区の健康づくりポイント事業「はねびょん健康ポイント」を知っていますか。
(○は1つ)

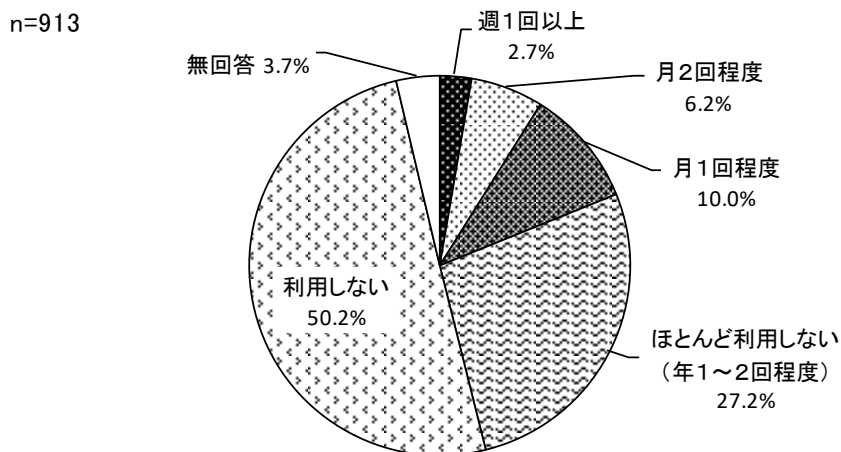


「はねびょん健康ポイント」の認知度について聞いたところ、「知っており、アプリで参加している」(3.8%)、「知っており、台紙で参加している」(0.2%)、「知っているが、参加していない」(12.9%)を合わせた《知っている(合計)》は16.9%となっている。

一方、「知らない」が79.6%となっている。

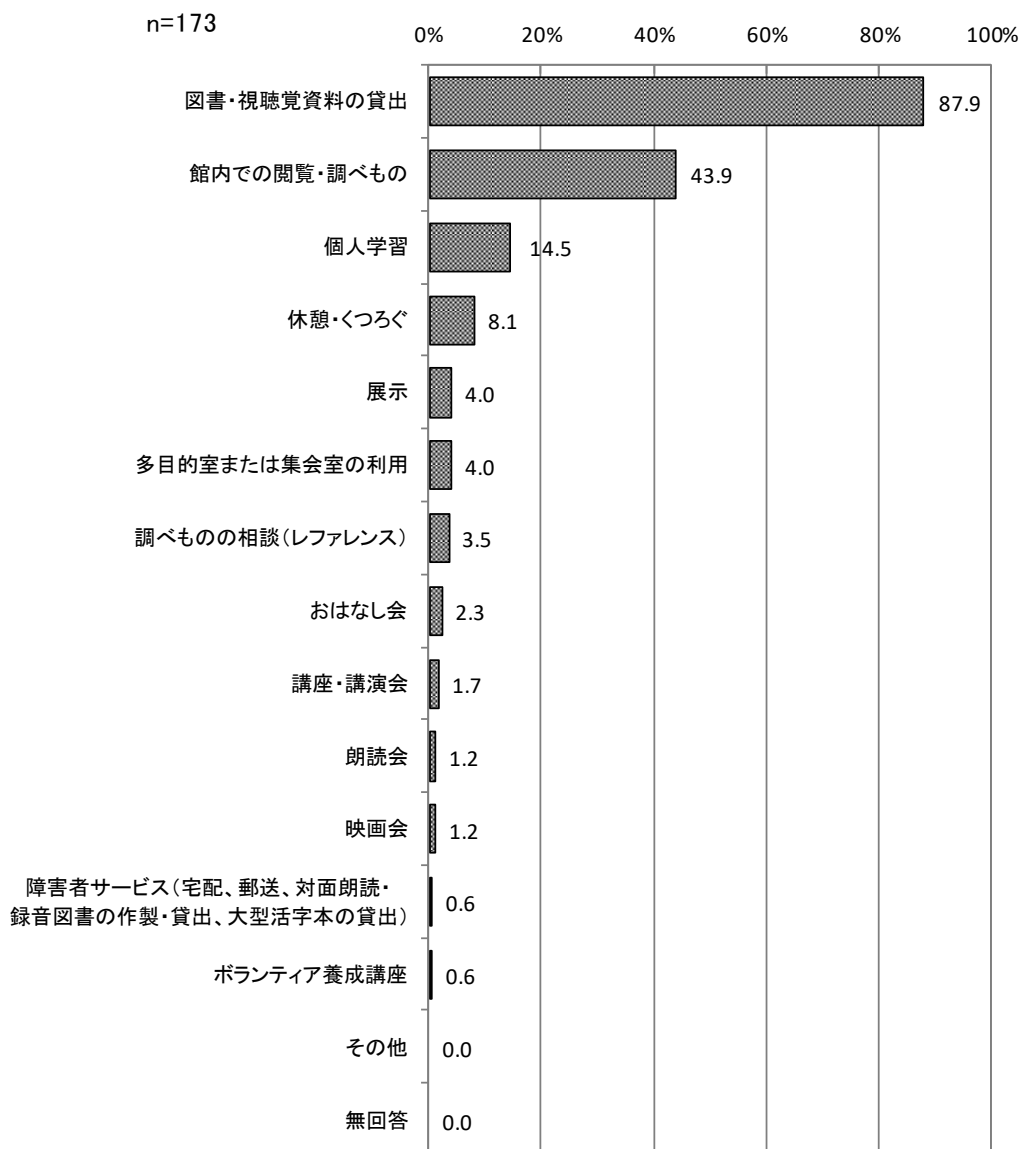
(13) 図書館について

問 31 大田区立図書館または大田文化の森情報館の利用頻度について該当するものを選択してください。(○は1つ)



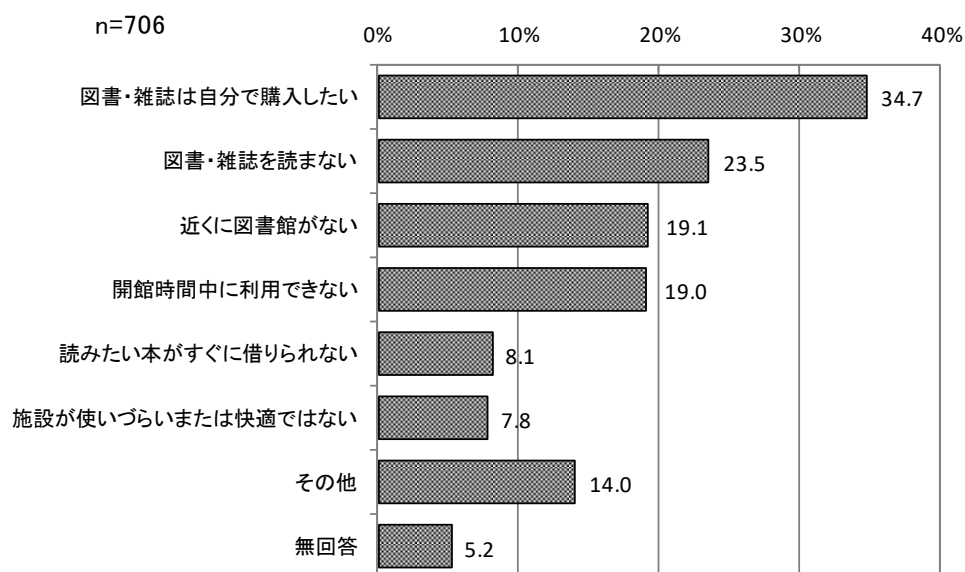
図書館等の利用頻度について聞いたところ、「利用しない」が50.2%で最も高く、次いで、「ほとんど利用しない(年1~2回程度)」(27.2%)、「月1回程度」(10.0%)となっている。

問 31-1 図書館で主に利用している機能・サービスについて該当するものを選択してください。
(〇はいくつでも)



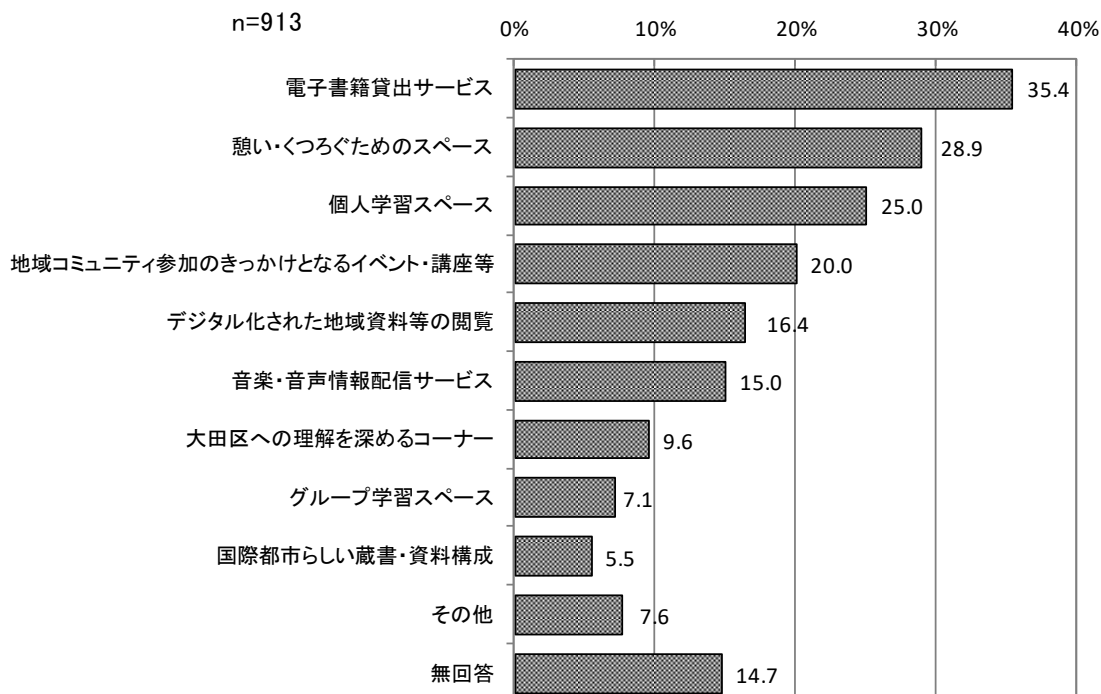
図書館で主に利用する機能・サービスについて聞いたところ、「図書・視聴覚資料の貸出」が87.9%で最も高く、次いで、「館内での閲覧・調べもの」(43.9%)、「個人学習」(14.5%)となっている。

問 31-2 図書館を利用しない理由について該当するものを選択してください。(〇はいくつでも)



図書館を利用しない理由について聞いたところ、「図書・雑誌は自分で購入したい」が 34.7%で最も高く、次いで、「図書・雑誌を読まない」(23.5%)、「近くに図書館がない」(19.1%)となっている。

問 32 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。(〇はいくつでも)

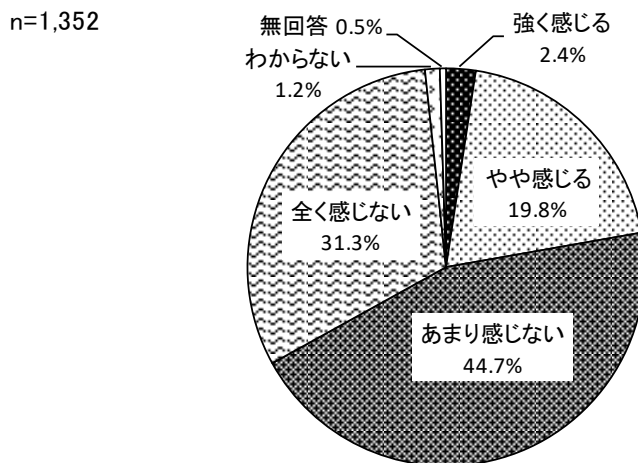


図書館に期待する機能・サービスについて聞いたところ、「電子書籍貸出サービス」が 35.4%で最も高く、次いで、「憩い・くつろぐためのスペース」(28.9%)、「個人学習スペース」(25.0%)となっている。

小学生以下のお子様の保護者の方が対象

(1) 子育ての相談相手などについて

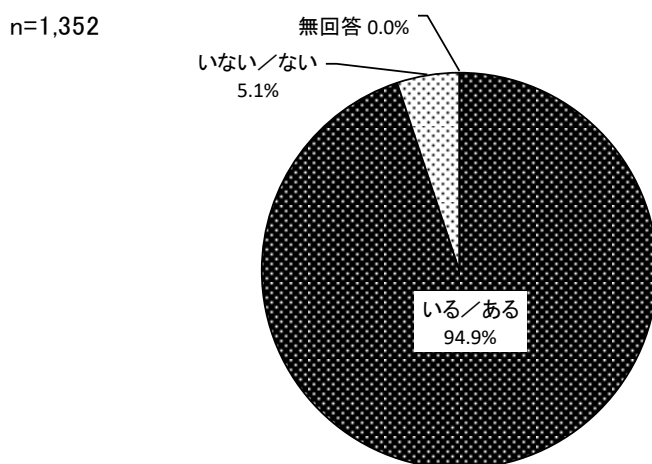
問1 子育てに関して孤立感を感じていますか。(〇は1つ)



子育てにおける孤立感について聞いたところ、「強く感じる」(2.4%)と「やや感じる」(19.8%)を合わせた《感じる(合計)》は22.2%となっている。

一方「あまり感じない」が44.7%で最も高く、「全く感じない」(31.3%)と合わせた《感じない(合計)》は76.0%となっている。

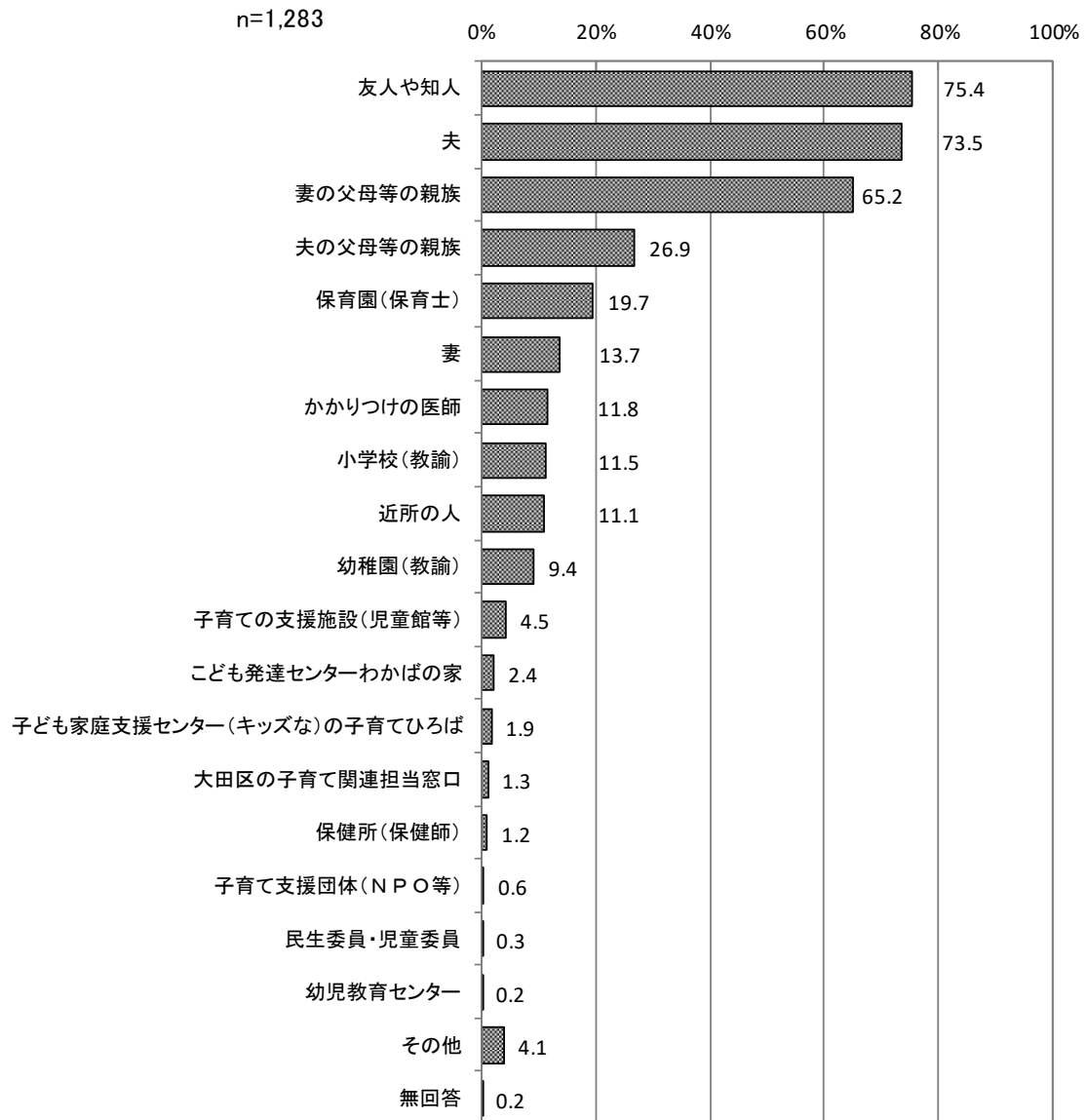
問2 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)



子育ての相談ができる相手・場所の有無について聞いたところ、「いる/ある」が94.9%、「いない/ない」が5.1%となっている。

【問2で「1. いる／ある」と回答された方】

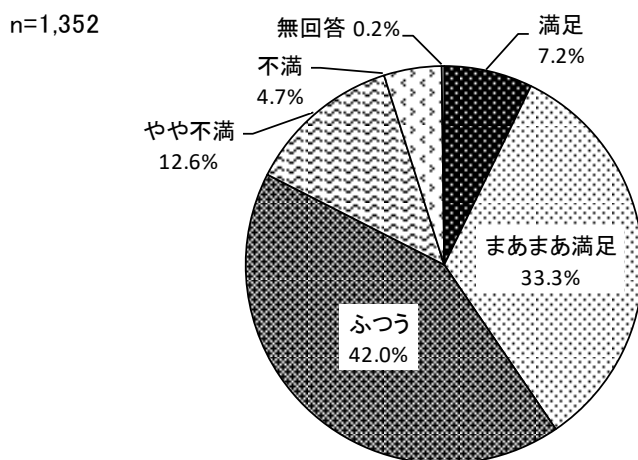
問3 気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）



子育ての相談ができる相手・場所について聞いたところ、「友人や知人」が 75.4%で最も高く、次いで、「夫」(73.5%)、「妻の父母等の親族」(65.2%)となっている。

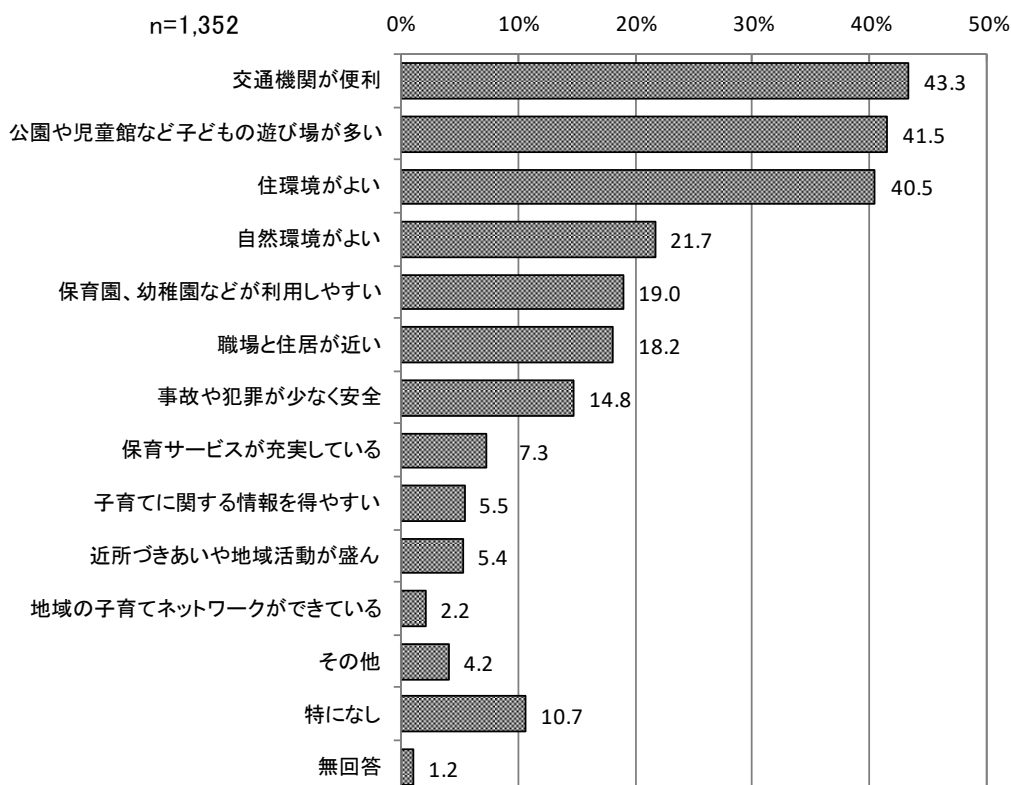
(2) 子育ての環境や支援などについて

問4 区の子育て環境や支援に満足していますか。(〇は1つ)



区の子育て環境や支援の満足度について聞いたところ、「ふつう」が42.0%で最も高くなっている。「満足」(7.2%)と「まあまあ満足」(33.3%)を合わせた《満足(合計)》は40.5%、「やや不満」(12.6%)と「不満」(4.7%)を合わせた《不満(合計)》は17.3%となっている。

問5 区の子育て環境や支援で満足している点はなんですか。(〇はいくつでも)



大田区の子育て環境・支援で満足している点について聞いたところ、「交通機関が便利」が43.3%で最も高く、次いで、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」(41.5%)、「住環境がよい」(40.5%)となっている。

令和 2 年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
概要版

令和 3 年 2 月発行

【発行】 大田区企画経営部企画課

〒144-8621 大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電 話 (03) 5744-1444 (直通)

F A X (03) 5744-1502